Offirio SynergyWare
ID Print

管理者ガイド

本書は、Offirio SynergyWare ID Print の概要とセットアップ、運用の仕方などを説明しています。
必要に応じてお読みいただき、お役立てください。

NPD3969-00

マークの意味

使用上、必ず守っていただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因となる可能性があります。

補足説明や参考情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Server 2003」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

商標

Windows

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

FeliCa

FeliCa（フェリカ）および PaSoRi（パソリ）は、ソニー株式会社の登録商標です。

Java

This product includes code licensed from RSA Security, Inc.
Some portions licensed from IBM are available at http://oss.software.ibm.com/icu4j/.
JavaおよびJava関連の商標およびロゴは、米国Sun Microsystems. Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

HSQLDB

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Hypersonic SQL Group.

Apache

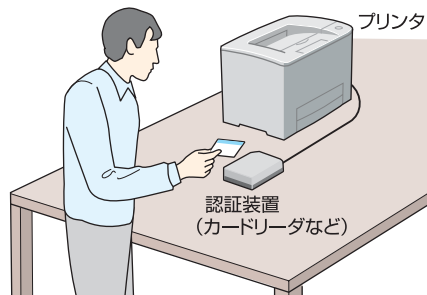
This product includes software developed by The Apache Software Foundation (http://www.apache.org/).
Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.
This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).
Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/

JavaService

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

ID Print とは

Offirio SynergyWare ID Print（以降「本製品」）は、クライアントから印刷ファイルを送信後、認証装置を通して本人の認証がされたときにファイルを印刷するシステムです。

本製品を導入するメリット

- プリンタが離れた場所にあっても、他人から印刷物をのぞき見されるのを防止できます。
- 認証操作をしないと印刷できないため、無駄な印刷を抑制します。
- 印刷物を放置しなくなるため、自分の印刷物が他の印刷物に紛れてしまうことがなくなります。

本製品の安全性について

本製品は、安全性（セキュリティ）確保のため、下記のような仕組みを採用しています。

- クライアントコンピュータへのログオン情報や認証メディア（FeliCa カード、磁気カードなど）に登録されたユーザー情報を利用して、認証操作をした特定のユーザーの印刷ファイルのみを出力します。
- 本システムを構築、運用するための各種設定は、管理者だけが行うよう、管理者用ソフトウェア（「システム設定」）にはログインパスワードが設けられています。さらに、各プリンタの設定を行うには、プリンタパスワードの設定が必要です。

本ソフトウェアは印刷ファイル自体を暗号化するものではありませんので、通信経路上またはコンピュータに一時的に保存されているデータは保護されません。

セキュアな印刷環境のために

本製品を使用してセキュアな印刷環境を構築するために、以下の内容をよくご理解の上、セットアップ作業を開始してください。

管理者と利用者の役割

本製品を適切に使用するには、管理者と利用者（クライアントユーザー）が正しく役割を分担する必要があります。それぞれの役割は以下の通りです。

管理者の役割

- 認証印刷サーバのセットアップ、管理、運用。
- クライアントのセットアップ、または利用者へのセットアップ方法の指導。
- 利用者への運用方法の指導。

管理者が行う作業の詳細は、本書に記載されています。

利用者の役割

- 本製品を導入した印刷環境での印刷。
- クライアント用ソフトウェアの運用。

クライアントが行う作業の詳細は、Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）に収録されている『Offirio SynergyWare ID Print利用者ガイド』（電子マニュアル）に記載されています。

セキュアな印刷環境とは

適切な条件が整わない印刷環境では、情報漏えいのおそれがあります。以下の各項目をご確認ください。

- 本製品の管理者には、信頼できる（悪意のある行為をしない）人を選出してください。
- サービスエンジニアなど管理者以外の第三者が本製品のセットアップまたは設定変更するときは必ず管理者が立ち会ってください。
- 本製品をインストールしたコンピュータ（認証印刷サーバ）の IP アドレスが不正に使用され、ほかのコンピュータが認証印刷サーバになりすますことがないように管理してください。認証印刷サーバの電源が切られている間は、ほかのコンピュータに認証印刷サーバの IP アドレスを不正使用される可能性がありますので、電源の管理に注意してください。同じ IP アドレスが複数のコンピュータに設定された場合は、双方のコンピュータに表示される警告メッセージで確認できます。
  Offirio SynergyWare 認証プロキシ 1.0またはOffirio SynergyWare 認証プロキシ for LDAP 1.5 と連携する場合は、これらをインストールしたコンピュータ（認証サーバ）の IP アドレスも同様に、不正使用されないように管理してください。
- 「EPSON PRIFNW7S」（ネットワークインターフェイスカード）が装着されたプリンタが、管理者の管理外に不正にネットワークに接続されないようにしてください。不正にネットワークに接続されたプリンタが認証印刷プリンタになりすまして、情報が漏えいするおそれがあります。
- 認証に利用するユーザー識別情報（ログオン名や、磁気カードなどの認証メディアに記録された情報）や、ユーザー識別情報を記録した認証メディアは、利用者以外の第三者が使用しないように利用者が管理してください。また、管理者は利用者に指導してください。
  本製品は、ユーザー識別情報自体は提供しません。
- 本製品をインストールしたコンピュータ（認証印刷サーバやクライアント）のハードディスクは、不正に持ち出されないように管理してください。また、ハードディスクを暗号化するなど、内部に保存されているデータ（印刷ファイルなど）が漏えいしないように管理してください。
- 本製品をインストールしたコンピュータ（認証印刷サーバやクライアント）が、修理や廃棄などで管理者または利用者以外の者に渡るときは、本製品をアンインストールするとともに、関連するデータや印刷ファイルなどを完全に削除してください。データを完全に削除するには、専用のソフトウェアなどの利用をお勧めします。
- 以下の情報は、管理者以外に漏えいしないように管理してください。
  ･本製品をインストールしたコンピュータ（認証印刷サーバ）のアカウント
  ･本製品の設定に使用するアカウント
  ･プリンタパスワード
  ･印刷ファイルの保存先フォルダ（認証印刷サーバ）へのアクセス権
- 本製品をインストールしたコンピュータ（クライアント）のアカウントは、利用者以外に漏えいしないように管理してください。
- 本製品をインストールする環境のネットワーク通信は、外部ネットワークからの攻撃を受けたり、通信を盗聴・改ざんされたりしないように、IPSec（Windows）などの機能を利用して保護してください。

導入環境

本製品は、以下の条件を満たしたネットワーク環境に導入できます。

- プリンタに IP アドレスが与えられていること
- TCP/IP プロトコルで通信すること

システム構成

本製品を使用して認証印刷のシステムを構築するには、以下のものが必要です。

ハードウェア

- 認証印刷サーバ（サーバ経由の場合のみ）
- クライアントコンピュータ
- プリンタ
- ネットワークインターフェイスカード「EPSON PRIFNW7S」
- 認証装置と、認証装置に対応する認証メディア

！重要

- サーバ経由の場合、クライアントユーザー（利用者）はサーバ 1 台につき 50 人未満で使用してください。
- サーバ経由の場合、サーバ 1 台につき複数の認証印刷用プリンタを接続できます。印刷の頻度、印刷ファイルサイズ、サーバの性能、負荷状況などによって異なりますが、最大で 5 台から 16 台程度の接続が目安となります。

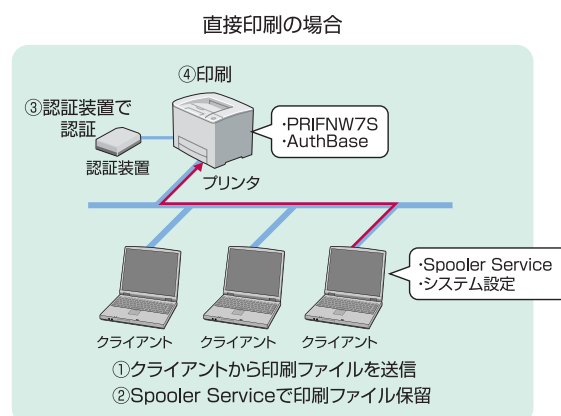
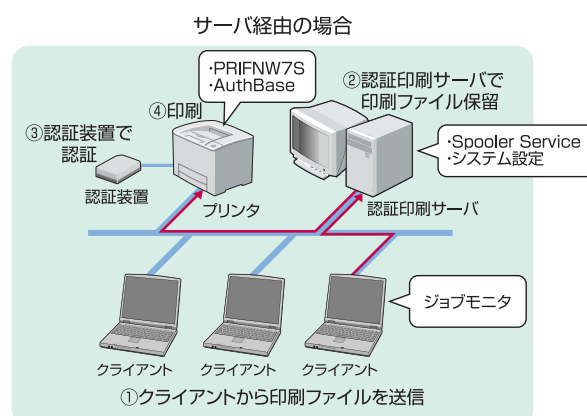
ソフトウェア

- EpsonNet ID Print AuthBase（以降「AuthBase」）
  ネットワークインターフェイスカード「EPSON PRIFNW7S」に組み込まれている、認証印刷用ソフトウェアです。
- EpsonNet ID Print Spooler Service（以降「Spooler Service」）
  クライアントから送信された印刷ファイルを保留し、印刷ファイルの認証を行います。
- EpsonNet ID Print システム設定（以降「システム設定」）
  印刷ファイルの管理やシステムの設定をするソフトウェアです。
- EpsonNet ID Print ジョブモニタ（以降「ジョブモニタ」）
  クライアントから送信した印刷ファイルを印刷する必要がなくなったときなどに、印刷せずにクライアント上で削除するためのソフトウェアです。
- EpsonNet ID Print ユーザー識別情報登録
  クライアント（Windows）へのログオン情報と、認証メディアに記録されているユーザー情報が異なる場合に、ユーザー情報を登録して、印刷ファイルに付与するためのソフトウェアです。

認証印刷の流れ

認証印刷の流れは次の通りです。

サーバ経由の場合

直接印刷の場合

参考

- LDAP を利用して認証処理を行うこともできます。
  ☞ 本書 87 ページ「連携ソフトウェアの紹介」
- 認証を必要としない通常の印刷も併用できます。

システム条件

以下は 2008 年 3 月現在の情報です。

対象 OS

認証印刷サーバ（サーバ経由）
Windows 2000 Server SP4 以降 Windows Server 2003 SP2 以降

クライアント（サーバ経由 / 直接印刷）
Windows 2000 Professional SP4 以降 Windows 2000 Server SP4 以降 Windows Server 2003 SP2 以降 Windows XP Professional SP2 以降 Windows Vista Business Windows Vista Ultimate Windows Vista Enterprise

- 64bit 版には対応していません。
- 本ソフトウェアはネットワーク環境で使用するため、サーバソフトウェアとしての使用を許諾されていない OS にサーバ用ソフトウェアをインストールして使用すると、Microsoft 社の使用許諾契約に違反する場合があります。詳細は、OS の使用許諾契約をご確認ください。

動作環境

認証印刷サーバ（サーバ経由） クライアント（直接印刷）	
CPU	Intel® Pentium® III 700MHz 以上
RAM	128MB 以上
空きハードディスク	20GB以上推奨（NTFSでフォーマットされている必要があります）
表示装置	解像度 800 × 600 以上のモニタ
インターフェイス	Ethernet × 1 USB/PS2 インターフェイス× 2 （キーボード、マウス用）
Java	Java SE 6 update3 が必要です。インストールされていない場合は、本製品インストール時にインストールします。

クライアント（サーバ経由）	
CPU	Intel® Pentium® III 500MHz 以上
RAM	128MB 以上
空きハードディスク	1GB 以上推奨
表示装置	解像度 800 × 600 以上のモニタ
インターフェイス	Ethernet × 1
Java	Java SE 6 update3 が必要です。インストールされていない場合は、本製品インストール時にインストールします。

標準対応プリンタ

モノクロ	LP-2500 シリーズ LP-7900 シリーズ LP-8900 シリーズ LP-9000B シリーズ LP-9100 シリーズ LP-9200B シリーズ LP-9400 シリーズ LP-S3000 シリーズ LP-S3500 シリーズ LP-S4000 シリーズ LP-S4200 シリーズ LP-S4500 シリーズ
カラー	LP-7000C シリーズ LP-8800C シリーズ LP-9000C シリーズ LP-9200C シリーズ LP-9800C シリーズ LP-M6500 シリーズ LP-M6000 シリーズ * LP-M7500 シリーズ LP-M9800 シリーズ LP-S6500 シリーズ LP-S7000 シリーズ LP-S7500 シリーズ

* LP-M6000 本体の「ユーザー認証機能」と同時には使えません。LP-M6000 の「ユーザー認証機能」の有効 / 無効の状態は、LP-M6000 の操作パネルに表示されるアイコンで確認できます。確認方法は LP-M6000 の取扱説明書を参照してください。

- 上記のプリンタにネットワークインターフェイスカード「EPSON PRIFNW7S」が装着されている必要があります。
- PostScript ドライバには対応していません。

推奨する認証装置

FeliCa リーダ	ソニー社製 PaSoRi
磁気カードリーダ	HID 準拠の製品

！重要

認証装置として、キーボードやテンキーなども利用可能ですが、他人に ID を入力される危険性があります。セキュアな運用をするために、カードリーダなど ID が自由に入力できない認証装置のご利用をお勧めします。

参考

標準対応プリンタと認証装置の最新情報はエプソンのホームページで確認できます。
http://www.epson.jp/

1 セットアップ

本製品の導入に必要な準備や設定を説明しています。

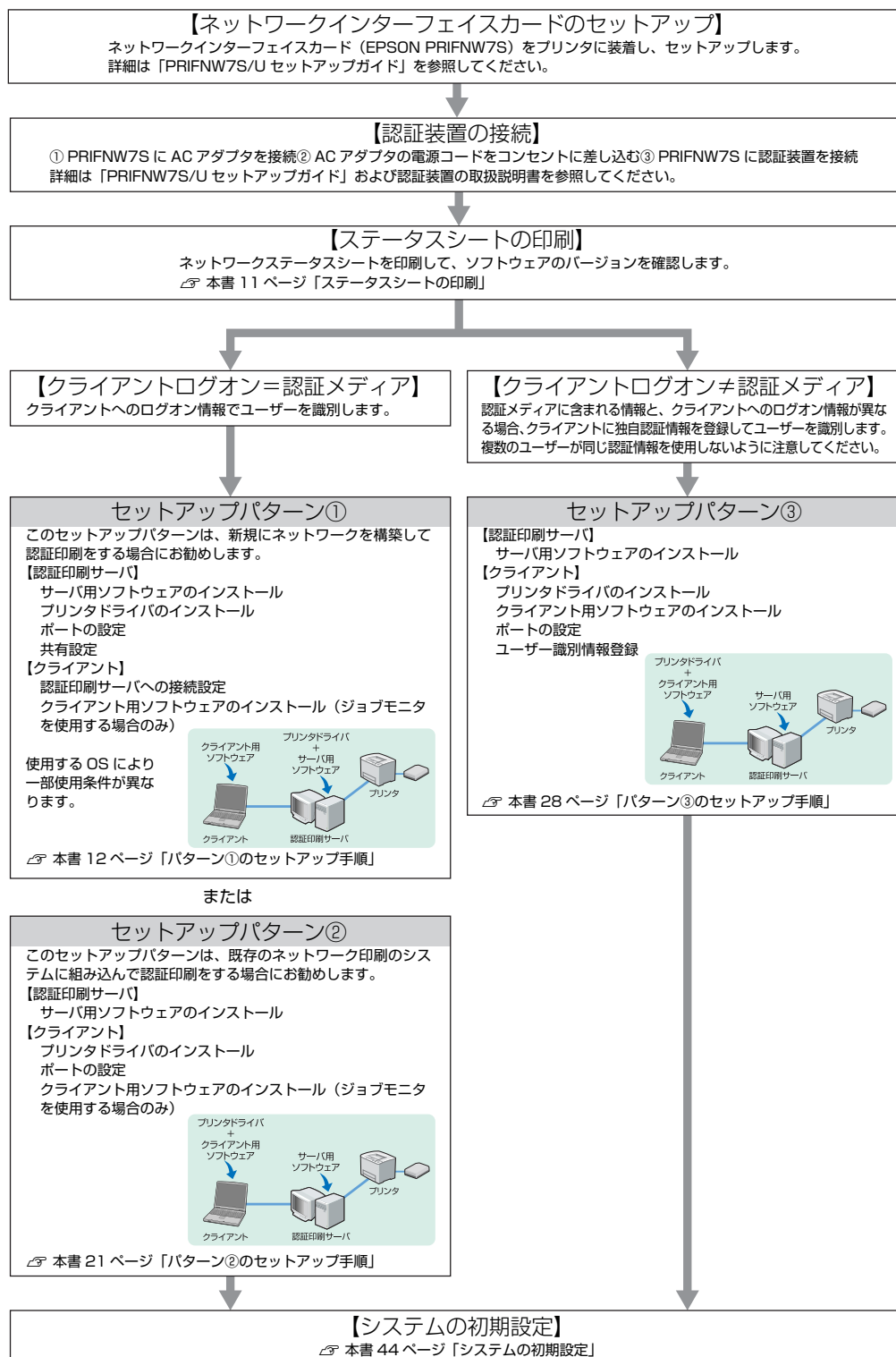
セットアップの流れ

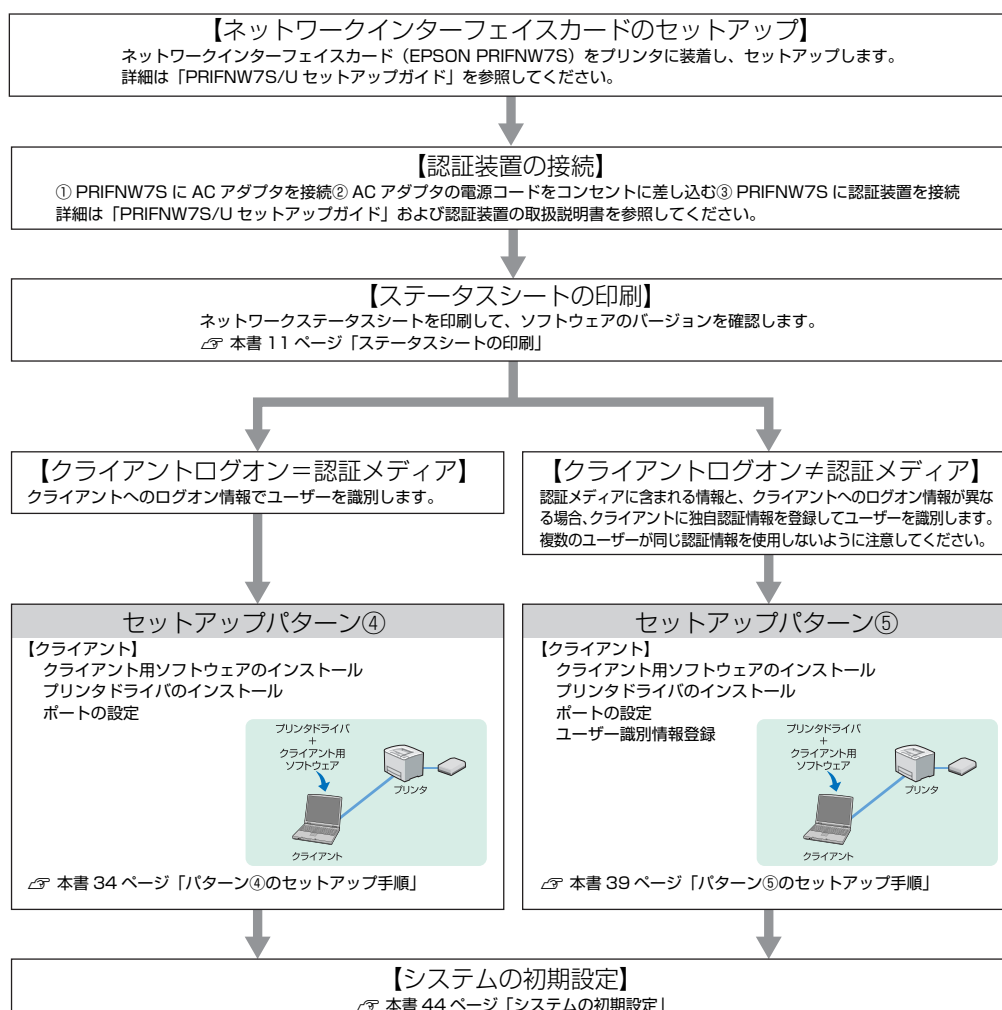
サーバ経由または直接印刷のいずれかを選択し、条件に合ったセットアップパターンでセットアップしてください。

セキュアな設定ができたかを確認するため、本書には設定チェックシートが添付されています。設定チェックシートの各項目を確認しながら作業を進めてください。

本書 88 ページ「設定チェックシート」

サーバ経由

サーバ経由では、クライアントへのインストールや動作時の負荷が直接印刷に比べてかかりません。

直接印刷の場合

直接印刷では、設定・管理までクライアント上で行うためサーバを用意する必要がありません。

旧バージョンからのアップデートについて

サーバ経由の場合

旧バージョンのサーバ経由用ソフトウェアがインストールされている環境に、本製品をインストールすると、過去の設定情報を保持したままアップデートできます。

直接印刷の場合

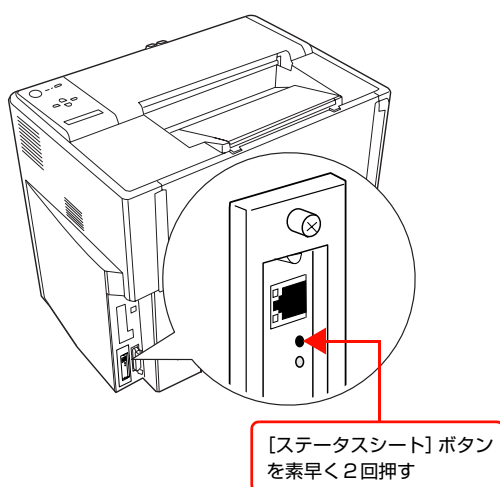
旧バージョンの直接印刷用ソフトウェアがインストールされている環境に、本製品をインストールすると、過去の設定情報を保持したままアップデートできます。ただし、印刷データは削除されますのでご注意ください。

ステータスシートの印刷

ステータスシートを印刷して、ネットワークインターフェイスカード「EPSON PRIFNW7S」に組み込まれている、認証印刷用ソフトウェア「AuthBase」のバージョンを確認します。

1 **プリンタにA4サイズの用紙をセットし、プリンタの電源を入れます。**

2 **「EPSON PRIFNW7S」の［ステータスシート（黒色）］ボタンを素早く２回押します。**

ボタンを１回押すと簡易ステータスシート（１枚）が印刷されますが、ここではボタンを素早く２回押して、フルステータスシート（４枚）を印刷してください。

3 **ステータスシートの４枚目に、以下の項目が表示されているか確認します。**

EpsonNet ID Print Authentication Print Module Version 1.5b

設定チェックシートの①を確認してください。
☞ 本書 88 ページ「設定チェックシート」

以上でバージョンの確認は完了です。

続いて、ソフトウェアのインストールと設定を行います。
☞ 本書 12 ページ「パターン①のセットアップ手順」
☞ 本書 21 ページ「パターン②のセットアップ手順」
☞ 本書 28 ページ「パターン③のセットアップ手順」
☞ 本書 34 ページ「パターン④のセットアップ手順」
☞ 本書 39 ページ「パターン⑤のセットアップ手順」

パターン①のセットアップ手順

!重要 ソフトウェアのインストールは、Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。

認証印刷サーバのセットアップ

使用条件

セットアップパターン①を利用する場合、以下の条件が必要です。

- 認証印刷サーバの OS が Windows Server 2003 で、かつ認証印刷サーバが WORKGROUP に属する場合、利用するユーザーアカウントをサーバのローカルユーザーとして登録しておく必要があります。また、セキュリティポリシーの設定をクラシックに変更してください。手順は次の通りです。
  ① [コントロールパネル] - [管理ツール] - [ローカルセキュリティポリシー] - [ローカルポリシー] - [セキュリティオプション] - [ネットワークアクセス：ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル] の順にクリックします。
  ② [クラシック - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証する] を選択して、[OK] をクリックします。
- 認証印刷サーバのOSがWindows 2000で、かつ認証印刷サーバが WORKGROUP に属する場合、認証印刷サーバにクライアントユーザーのアカウントが登録されている必要があります。

サーバ用ソフトウェアのインストール

サーバ用ソフトウェアのインストールをします。

1 Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）を CD-ROM ドライブにセットします。

画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2 [Offirio SynergyWareID Printのインストール]の[ ] をクリックします。

3 [サーバ経由] の [ ] をクリックします。

4 [サーバ用ソフトウェアのインストール] の [ ] をクリックします。

5 ［次へ］をクリックします。

6 内容を確認して、［はい］をクリックします。

7 インストール先を確認して、［次へ］をクリックします。

インストール先を変更するときは、［変更］をクリックしてください。

8 ［ユーザー名］、［パスワード］を入力し［パスワード確認］に再度パスワードを入力して、［次へ］をクリックします。

ここで入力したアカウントはWindowsのユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。

9 ［インストール］をクリックします。

10 Java に関するメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

- 「適切なVersionのJavaが見つかりません。Javaをインストールします。」と表示されたときは、［OK］をクリックし、画面に従って Java をインストールしてください。

- 「適切なVersionのJavaがインストールされていることを確認しました。」と表示されたときは、［OK］をクリックします。

11 ［完了］をクリックします。

以上でインストールは完了です。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。

１台のプリンタで、通常の印刷と認証印刷の両方を行いたい場合は、それぞれプリンタドライバの設定が必要です。例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と、認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という２つのプリンタドライバを登録しておけば、両方を併用することができます。

また、すでにインストール済みのプリンタドライバを認証印刷に使用することもできます。

！重要
プリンタドライバの［パスワード印刷］機能とは併用できません。［パスワード印刷］機能に対応しているプリンタを使用する際は、［パスワード印刷］の設定を無効にしてください。

認証印刷用に新たにインストールする場合

プリンタの取扱説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

ポートの種類は [Standard TCP/IP Port] を選択し、IP アドレスは認証印刷サーバの IP アドレスを指定してください。

インストール中に、デバイスの情報を求める画面が表示されたら、初期設定のまま次に進んでください。

インストール後、以下を参照してポートの設定と共有の設定をしてください。

本書 14 ページ「ポートの設定と共有の設定」

エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はインストールしないでください。エプソンプリンタ監視ユーティリティは、認証印刷のステータスを監視しません。

インストール済みのドライバを認証印刷に使用する場合

以下を参照して、ポートの設定と共有の設定をしてください。

本書 14 ページ「ポートの設定と共有の設定」

参考
エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はアンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

① ［コントロールパネル］の［プリンタと FAX］または［プリンタ］をクリックします。
② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］-［ユーティリティ］タブの順にクリックします。
③ EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合、［モニタの設定］をクリックして［共有プリンタをモニタさせる］のチェックを外します。EPSON ステータスモニタの場合、［通知設定］で［印刷中のプリンタを監視する］のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。

アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

ポートの設定と共有の設定

認証印刷用のポートを設定します。ポートのプロトコルは Raw または LPR が選択できます。

ここでは、Windows Server 2003 の画面を例に説明します。他の OS でも同様の手順で設定できます。

1 ［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

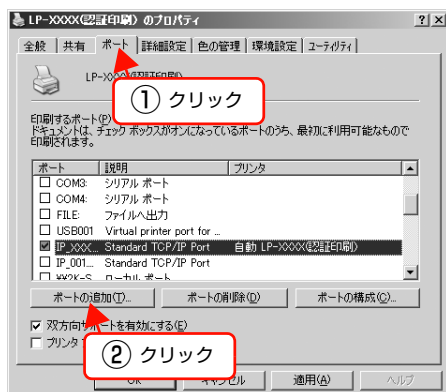
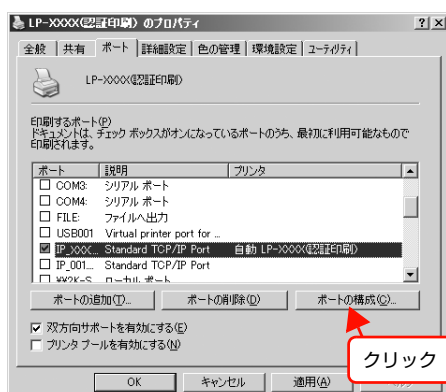
2 使用するプリンタを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして、ポートの確認または追加をします。

認証印刷用に新たにドライバをインストールした場合

インストール中のコンピュータの IP アドレスまたは［127.0.0.1］と、［Standard TCP/IP Port］が設定されていることを確認します。

通常印刷用にインストール済みのドライバに、認証印刷用のポートを設定する場合

［ポートの追加］をクリックして、［Standard TCP/IP Port］を選択し、インストール中のコンピュータの IP アドレスまたは［127.0.0.1］を設定します。デバイスの情報を求める画面が表示されたら、初期設定のまま次に進んでください。

4 ［ポートの構成］をクリックします。

5 ［標準 TCP/IP ポート モニタの構成］ダイアログで設定します。

ポートのプロトコルを Raw で使用する場合

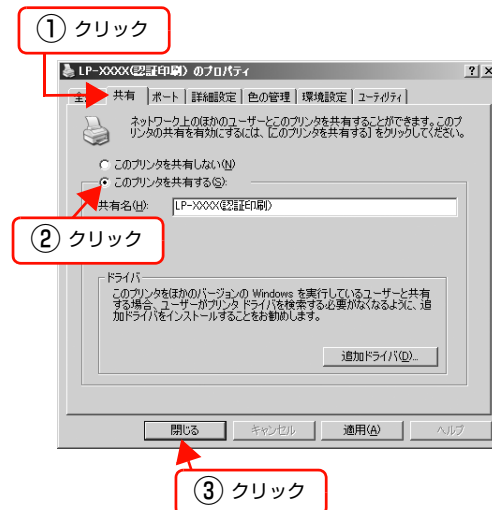
［プロトコル］で［Raw］をクリックして［Raw 設定］の［ポート番号］に「59200」と入力します。

［SNMP ステータスを有効にする］にチェックされている場合はチェックを外して、［OK］をクリックします。

ポートのプロトコルを LPR で使用する場合

［プロトコル］で［LPR］をクリックして［LPR 設定］の［キュー名］に大文字で「PASSTHRU」と入力します。

［SNMP ステータスを有効にする］にチェックされている場合はチェックを外して、［OK］をクリックします。

6 ［共有］タブをクリックし、［このプリンタを共有する］をクリックして、［閉じる］をクリックします。

以上でポートの設定と共有の設定は完了です。

クライアントのセットアップ

認証印刷サーバへの接続設定

Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2003 の場合

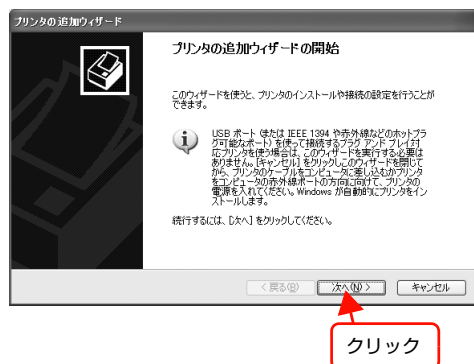
ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。他の OS でも同様の手順で設定できます。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

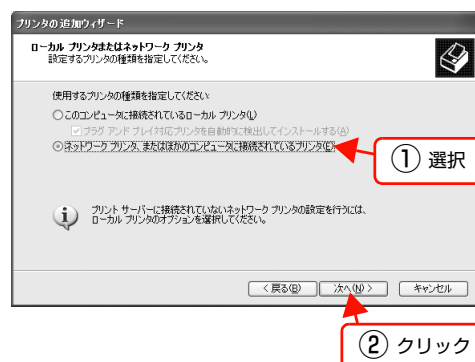
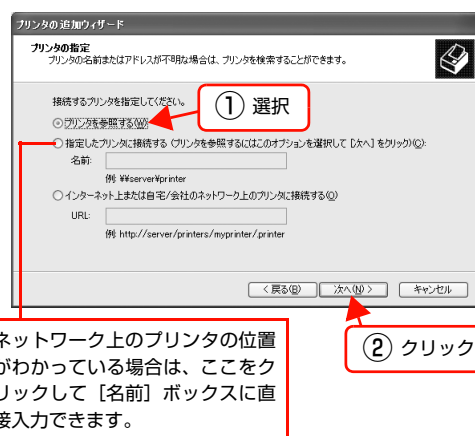
Windows Vista：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

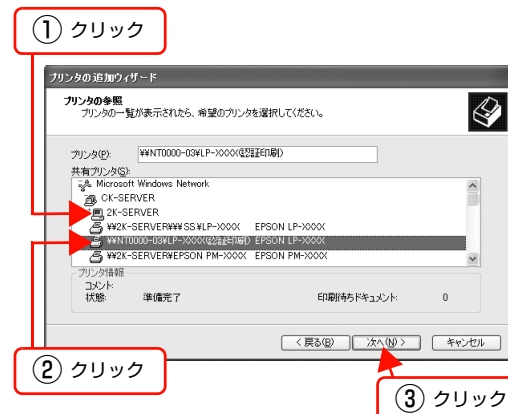
Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］の順にクリックします。

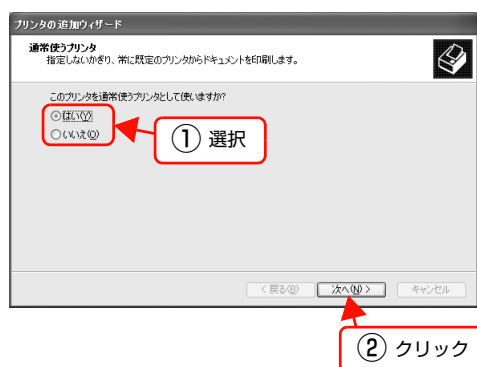
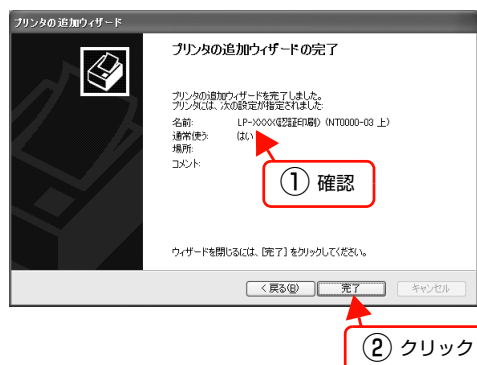
2 ［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Vista の場合は、続いて 4 に進みます。

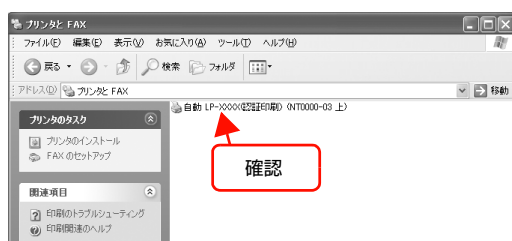
3 ［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックします。

4 ネットワークプリンタを選択します。

Windows Vista：
［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。接続するプリンタが表示されたら 6 に進みます。接続するプリンタが表示されないときは、［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックして 5 に進みます。

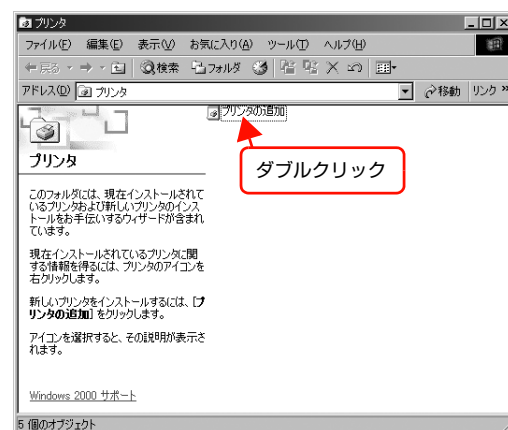
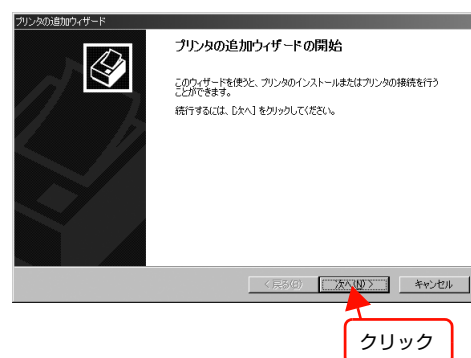
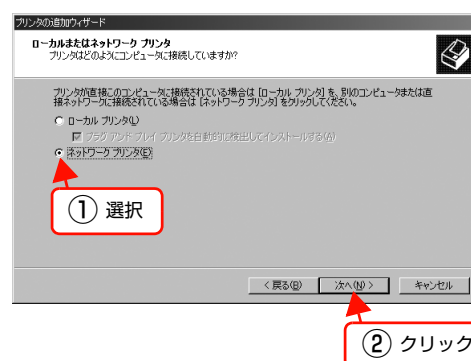
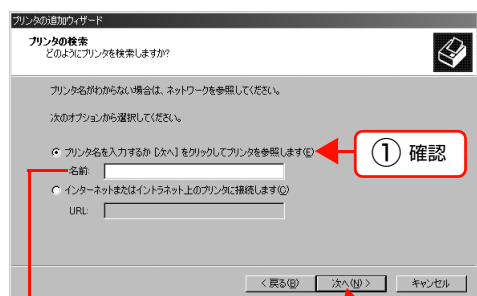
Windows XP/Windows Server 2003：
［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

5 ［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］をクリックします。

6 プリンタが接続されているコンピュータ（認証印刷サーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして、［次へ］をクリックします。

参考

- プリンタが接続されているコンピュータ（認証印刷サーバ）が、プリンタの名称を変更していることがあります。利用するネットワークの管理者に確認してください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

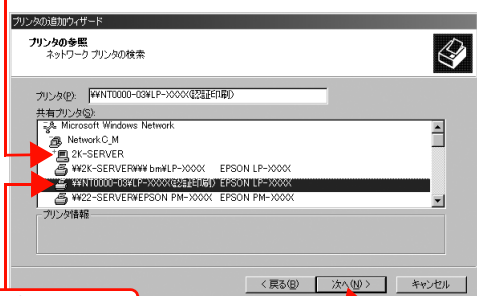
7 通常使うプリンタとして利用するかどうかを設定して、［次へ］をクリックします。

8 画面を確認して、［完了］をクリックします。

9 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開いて、プリンタが追加されていることを確認します。

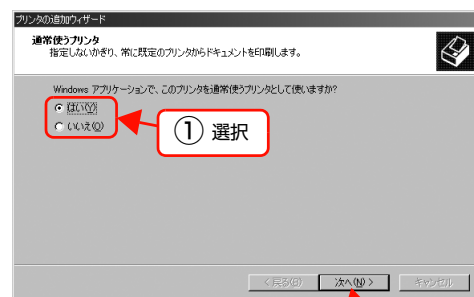
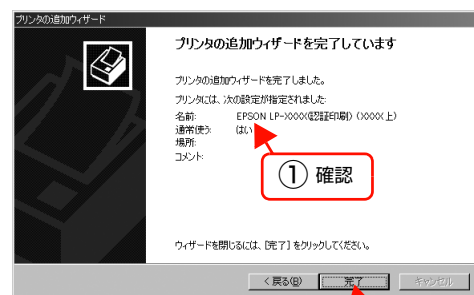
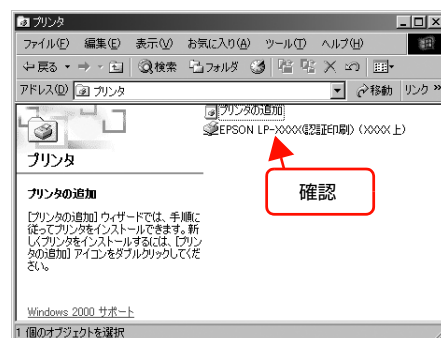
以上で認証印刷サーバへの接続設定は完了です。

Windows 2000 の場合

1 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3 ［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックします。

4 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

5 ［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］をクリックします。

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、この入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

6 プリンタが接続されているコンピュータ（認証印刷サーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］をクリックします。

参考

- プリンタが接続されているコンピュータ（認証印刷サーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7 通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］をクリックします。

8 設定内容を確認して、［完了］をクリックします。

9 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックして、プリンタが追加されていることを確認してください。

以上で認証印刷サーバへの接続設定は完了です。

クライアント用ソフトウェアのインストール(ジョブモニタを使用する場合のみ)

ジョブモニタを使用すると、クライアントから送信した印刷ファイルを印刷する必要がなくなったときなどに、印刷せずにクライアント上で削除できます。

ジョブモニタを使用しない場合は、インストールの必要はありません。

1. Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）を CD-ROM ドライブにセットします。

参考

画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2. [Offirio SynergyWare ID Print のインストール] の [ ] をクリックします。

3. [サーバ経由] の [ ] をクリックします。

4. [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [ ] をクリックします。

5. [次へ] をクリックします。

6. 内容を確認して、[はい] をクリックします。

7 **インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。**

インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

8 **[インストール] をクリックします。**

9 **Java に関するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。**

- 「適切なVersionのJavaが見つかりません。Javaをインストールします。」と表示されたときは、[OK] をクリックし、画面に従って Java をインストールしてください。

- 「適切なVersionのJavaがインストールされていることを確認しました。」と表示されたときは、[OK] をクリックします。

10 **[完了] をクリックします。**

以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

パターン②のセットアップ手順

!重要 ソフトウェアのインストールは、Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。

認証印刷サーバのセットアップ

サーバ用ソフトウェアのインストール

サーバ用ソフトウェアをインストールします。

1 Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）を CD-ROM ドライブにセットします。

参考
画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］-［CD-ROM ドライブ］アイコンの順にクリックして、［EPSetup.exe］アイコンをダブルクリックしてください。

2 ［Offirio SynergyWare ID Print のインストール］の［ ］をクリックします。

3 ［サーバ経由］の［ ］をクリックします。

4 ［サーバ用ソフトウェアのインストール］の［ ］をクリックします。

5 ［次へ］をクリックします。

6 内容を確認して、［はい］をクリックします。

7 **インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。**

インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

8 **[ユーザー名]、[パスワード] を入力し [パスワード確認] に再度パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。**

ここで入力したアカウントはWindowsのユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。

9 **[インストール] をクリックします。**

10 **Java に関するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。**

- 「適切なVersionのJavaが見つかりません。Javaをインストールします。」と表示されたときは、[OK] をクリックし、画面に従って Java をインストールしてください。

- 「適切なVersionのJavaがインストールされていることを確認しました。」と表示されたときは、[OK] をクリックします。

11 **[完了] をクリックします。**

以上でサーバ用ソフトウェアのインストールは完了です。

クライアントのセットアップ

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。

1台のプリンタで、通常の印刷と認証印刷の両方を行いたい場合は、それぞれプリンタドライバの設定が必要です。例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と、認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という2つのプリンタドライバを登録しておけば、両方を併用することができます。

また、すでにインストール済みのプリンタドライバを認証印刷に使用することもできます。

！重要

プリンタドライバの［パスワード印刷］機能とは併用できません。［パスワード印刷］機能に対応しているプリンタを使用する際は、［パスワード印刷］の設定を無効にしてください。

認証印刷用に新たにインストールする場合

プリンタの取扱説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

ポートの種類は［Standard TCP/IP Port］を選択し、IPアドレスは認証印刷サーバのIPアドレスを指定してください。

インストール中に、デバイスの情報を求める画面が表示されたら、初期設定のまま次に進んでください。

インストール後、以下を参照してポートの設定をしてください。

本書 24 ページ「ポートの設定」

参考

- エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はインストールしないでください。エプソンプリンタ監視ユーティリティは、認証印刷のステータスを監視しません。
- ドライバインストールソフトウェアの EpsonNet InstallManager を使用するとインストール後の設定作業が簡単にできます。この場合、ポートのプロトコルは LPR で使用されます。
  EpsonNet InstallManager はエプソンのホームページからダウンロードできます。
  http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm

インストール済みのドライバを認証印刷に使用する場合

以下を参照して、ポートの設定をしてください。

本書 24 ページ「ポートの設定」

参考

エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）は、アンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

① ［コントロールパネル］の［プリンタと FAX］または［プリンタ］をクリックします。

② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］-［ユーティリティ］タブの順にクリックします。

③ EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合、［モニタの設定］をクリックして［共有プリンタをモニタさせる］のチェックを外します。EPSON ステータスモニタの場合、［通知設定］で［印刷中のプリンタを監視する］のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。

アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

ポートの設定

認証印刷用のポートを設定します。ポートのプロトコルはRaw または LPR を選択できます。

ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。他のOS でも同様の手順で設定できます。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

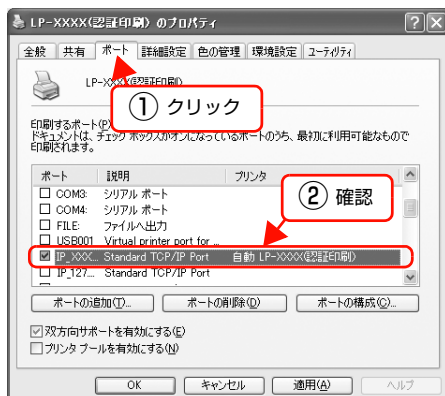
Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］の順にクリックします。

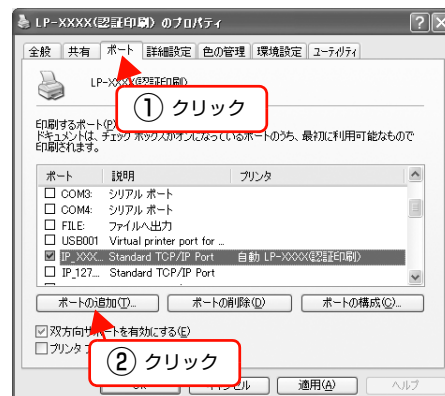
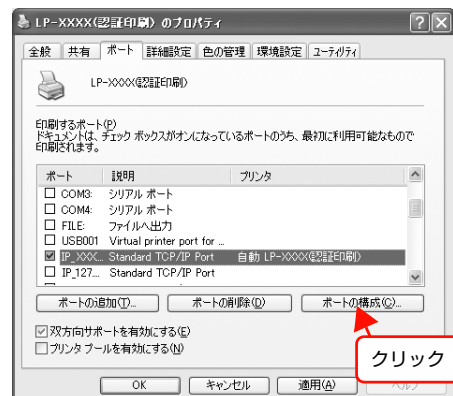
Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 使用するプリンタを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして、ポートの確認または追加をします。

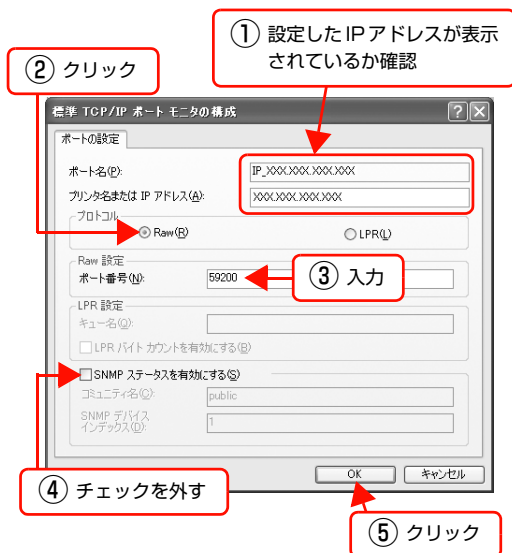
認証印刷用に新たにドライバをインストールした場合

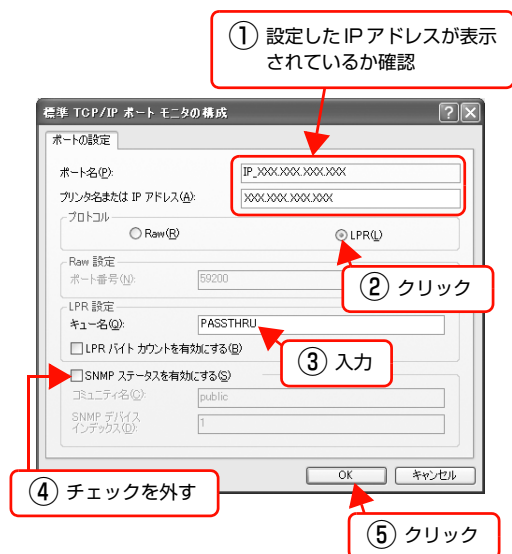
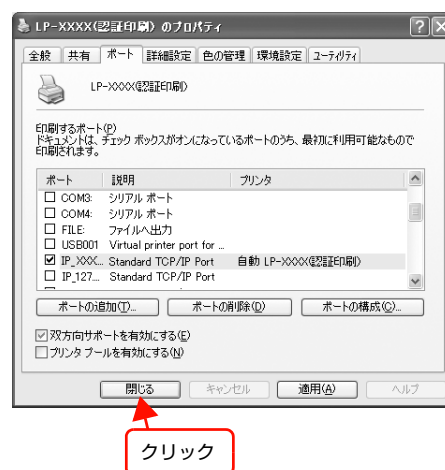
認証印刷サーバの IP アドレスと、［Standard TCP/IP Port］が設定されていることを確認します。

通常印刷用にインストール済みのドライバに、認証印刷用のポートを設定する場合

［ポートの追加］をクリックして、［Standard TCP/IP Port］を選択し、認証印刷サーバの IP アドレスを設定します。デバイスの情報を求める画面が表示されたら、初期設定のまま次に進んでください。

4 ［ポートの構成］をクリックします。

5 ［標準 TCP/IP ポート モニタの構成］ダイアログで設定します。

ポートのプロトコルを Raw で使用する場合

［プロトコル］で［Raw］をクリックして［Raw 設定］の［ポート番号］に「59200」と入力します。
［SNMP ステータスを有効にする］にチェックされている場合はチェックを外して、［OK］をクリックします。

ポートのプロトコルを LPR で使用する場合

［プロトコル］で［LPR］をクリックして［LPR 設定］の［キュー名］に大文字で「PASSTHRU」と入力します。
［SNMP ステータスを有効にする］にチェックされている場合はチェックを外して、［OK］をクリックします。

6 ［閉じる］をクリックします。

以上でポートの設定は完了です。

クライアント用ソフトウェアのインストール（ジョブモニタを使用する場合のみ）

ジョブモニタを使用すると、クライアントから送信した印刷ファイルを印刷する必要がなくなったときなどに、印刷せずにクライアント上で削除できます。

ジョブモニタを使用しない場合は、インストールの必要はありません。

1 Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）を CD-ROM ドライブにセットします。

参考

画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2 [Offirio SynergyWare ID Print のインストール] の [ ] をクリックします。

3 [サーバ経由] の [ ] をクリックします。

4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [ ] をクリックします。

5 [次へ] をクリックします。

6 内容を確認して、[はい] をクリックします。

7 インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。

インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

8 [インストール] をクリックします。

9 Java に関するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

- 「適切なVersionのJavaが見つかりません。Javaをインストールします。」と表示されたときは、[OK] をクリックし、画面に従って Java をインストールしてください。

- 「適切なVersionのJavaがインストールされていることを確認しました。」と表示されたときは、[OK] をクリックします。

10 [完了] をクリックします。

以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

パターン③のセットアップ手順

!重要　ソフトウェアのインストールは、Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。

認証印刷サーバのセットアップ

サーバ用ソフトウェアのインストール

サーバ用ソフトウェアのインストールをします。

1 Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）を CD-ROM ドライブにセットします。

参考
画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2 [Offirio SynergyWare ID Print のインストール] の [▶] をクリックします。

3 [サーバ経由] の [▶] をクリックします。

4 [サーバ用ソフトウェアのインストール] の [ ] をクリックします。

5 [次へ] をクリックします。

6 内容を確認して、[はい] をクリックします。

7 インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。

インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

8 [ユーザー名]、[パスワード] を入力し [パスワード確認] に再度パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。

ここで入力したアカウントはWindowsのユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。

9 [インストール] をクリックします。

10 Java に関するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

- 「適切な Version の Java が見つかりません。Java をインストールします。」と表示されたときは、[OK] をクリックし、画面に従って Java をインストールしてください。

- 「適切な Version の Java がインストールされていることを確認しました。」と表示されたときは、[OK] をクリックします。

11 [完了] をクリックします。

以上でインストールは完了です。

クライアントのセットアップ

クライアント用ソフトウェアのインストール

クライアント用ソフトウェアをインストールします。

1 Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）を CD-ROM ドライブにセットします。

参考

画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2 [Offirio SynergyWare ID Print のインストール] の [ ] をクリックします。

3 [サーバ経由] の [ ] をクリックします。

4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [ ] をクリックします。

5 [次へ] をクリックします。

6 内容を確認して、[はい] をクリックします。

7 インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。

インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

8 ［インストール］をクリックします。

9 Java に関するメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

- 「適切なVersionのJavaが見つかりません。Javaをインストールします。」と表示されたときは、［OK］をクリックし、画面に従って Java をインストールしてください。

- 「適切なVersionのJavaがインストールされていることを確認しました。」と表示されたときは、［OK］をクリックします。

10 ［完了］をクリックします。

以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。

１台のプリンタで、通常の印刷と認証印刷の両方を行いたい場合は、それぞれプリンタドライバの設定が必要です。例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と、認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という２つのプリンタドライバを登録しておけば、両方を併用することができます。

また、すでにインストール済みのプリンタドライバを認証印刷に使用することもできます。

！重要

プリンタドライバの［パスワード印刷］機能とは併用できません。［パスワード印刷］機能に対応しているプリンタを使用する際は、［パスワード印刷］の設定を無効にしてください。

認証印刷用に新たにインストールする場合

プリンタの取扱説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

プリンタの種類はローカルプリンタ、ポートは任意のものを選択してください。

インストール後、以下を参照してポートの設定をしてください。

本書 32 ページ「ポートの設定」

参考

エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はインストールしないでください。エプソンプリンタ監視ユーティリティは、認証印刷のステータスを監視しません。

インストール済みのドライバを認証印刷に使用する場合

以下を参照して、ポートの設定をしてください。

本書 32 ページ「ポートの設定」

参考

エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はアンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

① ［コントロールパネル］の［プリンタと FAX］または［プリンタ］をクリックします。
② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］-［ユーティリティ］タブの順にクリックします。
③ EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合、［モニタの設定］をクリックして［共有プリンタをモニタさせる］のチェックを外します。EPSON ステータスモニタの場合、［通知設定］で［印刷中のプリンタを監視する］のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。
アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

ポートの設定

認証印刷用のポートを設定します。

ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。他の OS でも同様の手順で設定できます。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 使用するプリンタを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして、［ポートの追加］をクリックします。

4 ［EpsonNet ID Print Port］をクリックして、［新しいポート］をクリックします。

5 認証印刷サーバの IP アドレス、ポート名を入力して、［次へ］をクリックします。

上段のみ入力してください。下段は同じ文字が自動入力されます。

6 設定内容を確認して、［完了］をクリックします。

7 ［プリンタポート］画面で、［閉じる］をクリックします。

8 作成したポートをクリックして、[ポートの構成] をクリックします。

9 [入力したユーザー識別子を利用] を選択して、印刷条件を選択し、[OK] をクリックします。

10 [閉じる] をクリックします。

以上でポートの設定は完了です。

ユーザー識別情報の登録

認証印刷は、印刷データに付随するログオン名と FeliCa カードや磁気カードなどの認証メディアに記録された情報の一致で印刷者の特定をします。

認証メディアに記録された情報を利用して認証する場合、独自認証情報の登録を行い、クライアントの印刷データに情報が付随するようにします。

1 [スタート] - [すべてのプログラム] または [プログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print ユーザー識別情報登録] の順にクリックします。

2 FeliCaカードや磁気カードなどの認証メディアに記録されている情報と同じ文字列を入力して、[登録] をクリックします。

入力した内容を認証情報として登録します。

認証メディアの記録情報を確認する方法は、認証装置の取扱説明書を参照するか、認証メディアの管理者に確認してください。

参考

初期設定では、大文字と小文字を区別しない設定になっています。大文字と小文字を区別して認識させたいときは、以下のページを参照して設定を変更してください。

☞ 本書 44 ページ「ユーザー識別情報の大文字と小文字を区別する設定」

3 画面右上の [×] をクリックして画面を閉じます。

以上でユーザー識別情報の登録は完了です。

参考

ユーザー情報が書かれたファイルからの登録もできます。

① 管理者がクライアントに対し、それぞれのユーザー情報が書かれたファイル (user ＊ .ini) を配布しておきます。ファイル名は「user ＊ .ini」で、「＊」に任意の文字を使用できます。任意の文字は桁数に制限なく、半角でも全角でも入力できます。

② [ユーザー識別情報登録] を起動します。

③ [ファイル] - [ユーザー情報ファイルを開く] の順にクリックして、該当するクライアントのユーザー情報ファイル (user ＊ .ini) をクリックします。

④ [ユーザー識別情報登録] の [登録] をクリックすると情報が登録され、[登録されているユーザー識別情報] にユーザー識別情報が登録されます。

パターン④のセットアップ手順

!重要 ソフトウェアのインストールは、Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。

クライアントのセットアップ

クライアント用ソフトウェアのインストール

クライアント用ソフトウェアをインストールします。

1 Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）を CD-ROM ドライブにセットします。

参考
画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2 [Offirio SynergyWare ID Print のインストール] の [ ] をクリックします。

3 [直接印刷] の [ ] をクリックします。

4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [ ] をクリックします。

5 [次へ] をクリックします。

6 内容を確認して、[はい] をクリックします。

7 **インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。**

インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

8 **[ユーザー名]、[パスワード] を入力し [パスワード確認] に再度パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。**

ここで入力したアカウントはWindowsのユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。

9 **[インストール] をクリックします。**

10 **Java に関するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。**

- 「適切なVersionのJavaが見つかりません。Javaをインストールします。」と表示されたときは、[OK] をクリックし、画面に従って Java をインストールしてください。

- 「適切なVersionのJavaがインストールされていることを確認しました。」と表示されたときは、[OK] をクリックします。

11 **[完了] をクリックします。**

以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。

１台のプリンタで、通常の印刷と認証印刷の両方を行いたい場合は、それぞれプリンタドライバの設定が必要です。例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と、認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という２つのプリンタドライバを登録しておけば、両方を併用することができます。

また、すでにインストール済みのプリンタドライバを認証印刷に使用することもできます。

> **！重要**
>
> プリンタドライバの［パスワード印刷］機能とは併用できません。［パスワード印刷］機能に対応しているプリンタを使用する際は、［パスワード印刷］の設定を無効にしてください。

認証印刷用に新たにインストールする場合

プリンタの取扱説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

ポートの種類は［Standard TCP/IP Port］を選択し、IPアドレスはインストール中のコンピュータのIPアドレスまたは［127.0.0.1］を指定してください。

インストール中に、デバイスの情報を求める画面が表示されたら、初期設定のまま次に進んでください。

インストール後、以下を参照してポートの設定をしてください。

本書 37 ページ「ポートの設定」

> **参考**
>
> - エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタやEPSONプリンタウィンドウ!3）はインストールしないでください。エプソンプリンタ監視ユーティリティは、認証印刷のステータスを監視しません。
> - ドライバインストールソフトウェアの EpsonNet InstallManager を使用するとインストール後の設定作業が簡単にできます。この場合、ポートのプロトコルは LPR で使用されます。
>   EpsonNet InstallManager はエプソンのホームページからダウンロードできます。
>   http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm

インストール済みのドライバを認証印刷に使用する場合

以下を参照して、ポートの設定をしてください。

本書 37 ページ「ポートの設定」

> **参考**
>
> エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）は、アンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。
>
> ① ［コントロールパネル］の［プリンタと FAX］または［プリンタ］をクリックします。
>
> ② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］-［ユーティリティ］タブの順にクリックします。
>
> ③ EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合、［モニタの設定］をクリックして［共有プリンタをモニタさせる］のチェックを外します。EPSON ステータスモニタの場合、［通知設定］で［印刷中のプリンタを監視する］のチェックを外します。
>
> エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。
>
> アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

ポートの設定

認証印刷用のポートを設定します。ポートのプロトコルはRaw または LPR を選択できます。

ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。他のOS でも同様の手順で設定できます。

1 **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

Windows Vista：
［スタート］—［コントロールパネル］—［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］—［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］—［設定］—［プリンタ］をクリックします。

2 **使用するプリンタを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**

3 **［ポート］タブをクリックして、ポートの確認または追加をします。**

認証印刷用に新たにドライバをインストールした場合
インストール中のコンピュータの IP アドレスまたは［127.0.0.1］と、［Standard TCP/IP Port］が設定されていることを確認します。

通常印刷用にインストール済みのドライバに、認証印刷用のポートを設定する場合
［ポートの追加］をクリックして、［Standard TCP/IP Port］を選択し、インストール中のコンピュータのIP アドレスまたは［127.0.0.1］を設定します。デバイスの情報を求める画面が表示されたら、初期設定のまま次に進んでください。

4 **［ポートの構成］をクリックします。**

5 ［標準 TCP/IP ポート モニタの構成］ダイアログで設定します。

ポートのプロトコルを Raw で使用する場合

［プロトコル］で［Raw］をクリックして［Raw 設定］の［ポート番号］に「59200」と入力します。
［SNMP ステータスを有効にする］にチェックされている場合はチェックを外して、［OK］をクリックします。

ポートのプロトコルを LPR で使用する場合

［プロトコル］で［LPR］をクリックして［LPR 設定］の［キュー名］に大文字で「PASSTHRU」と入力します。
［SNMP ステータスを有効にする］にチェックされている場合はチェックを外して、［OK］をクリックします。

6 ［閉じる］をクリックします。

以上でポートの設定は完了です。

パターン⑤のセットアップ手順

！重要 ソフトウェアのインストールは、Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。

クライアントのセットアップ

クライアント用ソフトウェアのインストール

クライアント用ソフトウェアをインストールします。

1 Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）を CD-ROM ドライブにセットします。

参考

画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] - [CD-ROM ドライブ] アイコンの順にクリックして、[EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2 [Offirio SynergyWare ID Print のインストール] の [ ] をクリックします。

3 [直接印刷] の [ ] をクリックします。

4 [クライアント用ソフトウェアのインストール] の [ ] をクリックします。

5 [次へ] をクリックします。

6 内容を確認して、[はい] をクリックします。

7 **インストール先を確認して、[次へ] をクリックします。**

インストール先を変更するときは、[変更] をクリックしてください。

8 **[ユーザー名]、[パスワード] を入力し [パスワード確認] に再度パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。**

ここで入力したアカウントはWindowsのユーザーアカウントとして登録されます。Windows に登録済みのアカウントを入力するとエラーとなります。

9 **[インストール] をクリックします。**

10 **Java に関するメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。**

- 「適切な Version の Java が見つかりません。Java をインストールします。」と表示されたときは、[OK] をクリックし、画面に従って Java をインストールしてください。

- 「適切な Version の Java がインストールされていることを確認しました。」と表示されたときは、[OK] をクリックします。

11 **[完了] をクリックします。**

以上でクライアント用ソフトウェアのインストールは完了です。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。

１台のプリンタで、通常の印刷と認証印刷の両方を行いたい場合は、それぞれプリンタドライバの設定が必要です。例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と、認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という２つのプリンタドライバを登録しておけば、両方を併用することができます。

また、すでにインストール済みのプリンタドライバを認証印刷に使用することもできます。

！重要

プリンタドライバの［パスワード印刷］機能とは併用できません。［パスワード印刷］機能に対応しているプリンタを使用する際は、［パスワード印刷］の設定を無効にしてください。

認証印刷用に新たにインストールする場合

プリンタの取扱説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

プリンタの種類はローカルプリンタ、ポートは任意のものを選択してください。

インストール後、以下を参照してポートの設定をしてください。

☞ 本書 41 ページ「ポートの設定」

参考

エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はインストールしないでください。エプソンプリンタ監視ユーティリティは、認証印刷のステータスを監視しません。

インストール済みのドライバを認証印刷に使用する場合

以下を参照して、ポートの設定をしてください。

☞ 本書 41 ページ「ポートの設定」

参考

エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）はアンインストールするか、以下の手順で監視しない設定に変更してください。

① ［コントロールパネル］の［プリンタと FAX］または［プリンタ］をクリックします。
② 使用するプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］-［ユーティリティ］タブの順にクリックします。
③ EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合、［モニタの設定］をクリックして［共有プリンタをモニタさせる］のチェックを外します。EPSON ステータスモニタの場合、［通知設定］で［印刷中のプリンタを監視する］のチェックを外します。

エプソンプリンタ監視ユーティリティは認証印刷のステータスを監視しません。
アンインストール、または上記の設定をせずに認証印刷をすると、認証印刷自体は実行されますが、クライアントにはエラーが表示されます。

ポートの設定

認証印刷用のポートを設定します。

ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。他の OS でも同様の手順で設定できます。

1 **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

Windows Vista：
［スタート］—［コントロールパネル］—［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］—［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］—［設定］—［プリンタ］をクリックします。

2 **使用するプリンタを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**

3 **［ポート］タブをクリックして、［ポートの追加］をクリックします。**

4 ［EpsonNet ID Print Port］をクリックして、［新しいポート］をクリックします。

5 インストール中のコンピュータのIPアドレスまたは［127.0.0.1］、ポート名を入力して、［次へ］をクリックします。

上段のみ入力してください。下段は同じ文字が自動入力されます。

6 設定内容を確認して、［完了］をクリックします。

7 ［プリンタポート］画面で、［閉じる］をクリックします。

8 作成したポートをクリックして、［ポートの構成］をクリックします。

9 ［入力したユーザー識別子を利用］を選択して、印刷条件を選択し、［OK］をクリックします。

10 ［閉じる］をクリックします。

以上でポートの設定は完了です。

ユーザー識別情報の登録

認証印刷は、印刷データに付随するログオン名と FeliCa カードや磁気カードなどの認証メディアに記録された情報の一致で印刷者の特定をします。

認証メディアに記録された情報を利用して認証する場合、独自認証情報の登録を行い、クライアントの印刷データに情報が付随するようにします。

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] または [プログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print ユーザー識別情報登録] の順にクリックします。**

2 **FeliCaカードや磁気カードなどの認証メディアに記録されている情報と同じ文字列を入力して、[登録] をクリックします。**

入力した内容を認証情報として登録します。

認証メディアの記録情報を確認する方法は、認証装置の取扱説明書を参照するか、認証メディアの管理者に確認してください。

参考

初期設定では、大文字と小文字を区別しない設定になっています。大文字と小文字を区別して認識させたいときは、以下のページを参照して設定を変更してください。

☞ 本書 44 ページ「ユーザー識別情報の大文字と小文字を区別する設定」

3 **画面右上の [×] をクリックして画面を閉じます。**

以上でユーザー識別情報の登録は完了です。

参考

ユーザー情報が書かれたファイルからの登録もできます。

① 管理者がクライアントに対し、それぞれのユーザー情報が書かれたファイル（user ＊ .ini）を配布しておきます。ファイル名は「user ＊ .ini」で、「＊」に任意の文字を使用できます。任意の文字は桁数に制限なく、半角でも全角でも入力できます。

② [ユーザー識別情報登録] を起動します。

③ [ファイル] - [ユーザー情報ファイルを開く] の順にクリックして、該当するクライアントのユーザー情報ファイル（user ＊ .ini）をクリックします。

④ [ユーザー識別情報登録] の [登録] をクリックすると情報が登録され、[登録されているユーザー識別情報] にユーザー識別情報が登録されます。

システムの初期設定

システム設定を起動して以下の初期設定をします。

- 管理者情報の入力
- プリンタの登録
- 設定ファイルの編集

インストール後、初めて起動したときにのみ初期設定画面が表示されます。設定は、プリンタの電源をオンにして通信可能な状態にしてから行ってください。

参考

マルチホーム環境で利用するための設定

マルチホーム環境 *1 のコンピュータにインストールして利用する際は、初めに、以下の手順で設定ファイル *2 を修正してください。

*1 マルチホーム環境とは、1 台のコンピュータに複数のネットワークカードを接続して、IP アドレスを2つ以上持っている状態のことです。

*2 設定ファイルのパスは￥Program Files￥EpsonNet￥EpsonNet ID Print 以下を記載しています。

① ID Print がインストールされているマルチホームコンピュータで以下の設定ファイルを開きます。なおマルチホーム環境ではないクライアントコンピュータの設定ファイルは修正不要です。

・ セットアップパターン①②③

サーバ経由（サーバ）　：￥Server￥viaServer￥Controller￥printset_ep_settingapp_server

：￥Server￥viaServer￥Spooler￥printset_ep_spooler_service

（クライアント）：￥Client￥viaServer￥printset_ep_cancel_app

・ セットアップパターン④⑤

直接印刷　（クライアント）：￥Server￥directPrint￥printset_ep_spooler_service

：￥Client￥directPrint￥Controller￥printset_ep_settingapp_direct

② 各ファイルの「#message.service.plugin.proir.addr=192.168.1.1」の先頭の「#」を削除します。

③ ②で編集した行の「192.168.1.1」部分に、マルチホーム環境で複数の IP アドレスの中から、ID Print に利用する IP アドレスを入力します。

④ [スタート] ― [コントロールパネル] ― [管理ツール] ― [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を再起動します。

以上で終了です。

ユーザー識別情報の大文字と小文字を区別する設定

初期設定では、ユーザー識別情報は、大文字と小文字を区別しない設定になっています。大文字と小文字を区別するには、以下の手順で設定ファイルを修正してください。

① 以下の設定ファイルを開きます。

￥Program Files￥EpsonNet￥EpsonNet ID Print ￥Server￥viaServer￥Spooler￥printset_ep_spooler_service

② 「job.user.name.convert.to.lower=true」の「true」を「false」に書き換えます。

③ [スタート] ― [コントロールパネル] ― [管理ツール] ― [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を再起動します。

以上で終了です。

1 **登録するプリンタの電源を入れます。**

プリンタと通信可能な状態になっていないとプリンタへの設定ができません。プリンタと通信可能なことを確認してください。

2 **サーバ経由の場合は認証印刷サーバ、直接印刷の場合はクライアントの Windows を起動します。**

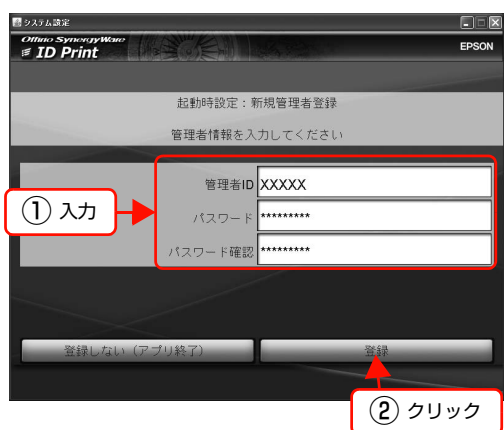
ソフトウェアをインストール後、Windows を再起動していない場合は、再起動してください。

3 **[スタート] - [プログラム] または [すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print システム設定] の順にクリックします。**

4 **[OK] をクリックします。**

5 もう一度［OK］をクリックします。

6 ［管理者ID］、［パスワード］、［パスワード確認］をそれぞれ入力して［登録］をクリックします。

管理者IDは半角英数、5～10文字。
パスワードは半角英数、5～10文字。英字と数字をそれぞれ1文字以上使用してください。
いずれも、大文字、小文字は区別して認識されます。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

9 ［バージョン］をクリックして、本ソフトウェアのバージョンを確認します。

「EpsonNet ID Print Authentication Print Module Version 1.5b」と表示されていることを確認してください。このバージョンは、システム設定とSpplerService のバージョンを示しています。

設定チェックシートの②を確認してください。

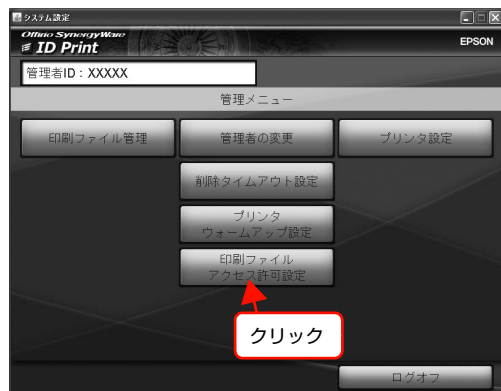
☞ 本書88ページ「設定チェックシート」

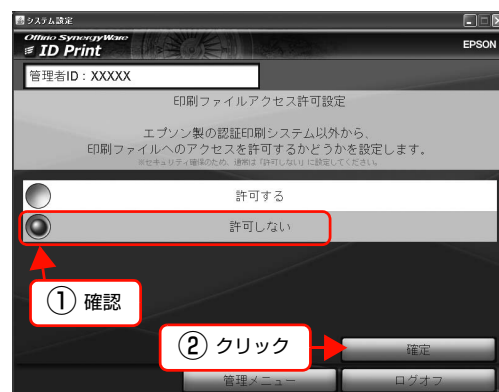
確認後、画面の上でクリックして、バージョンの表示を終了してください。

10 ［管理者ログオン］画面で管理者IDとパスワードを入力して、［確定］をクリックします。

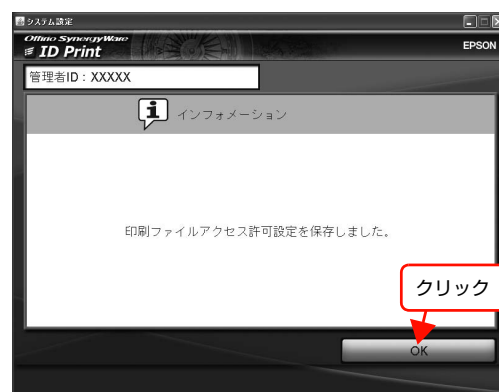
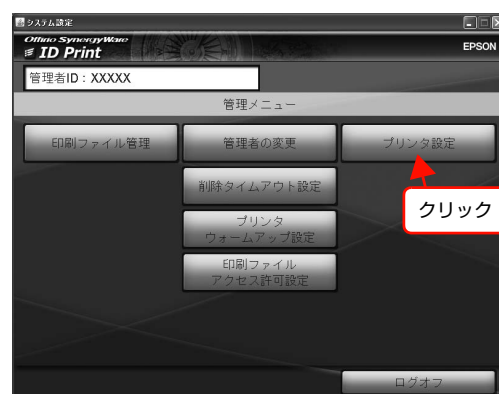
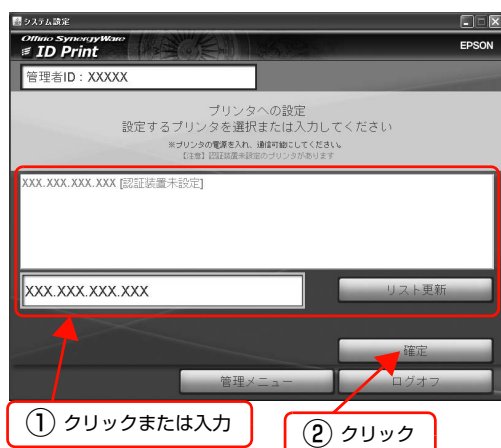
参考

キーボードが接続されていないコンピュータから文字を入力する場合は、画面のキーボードアイコンをクリックしてください。画面上で入力できる状態になります。

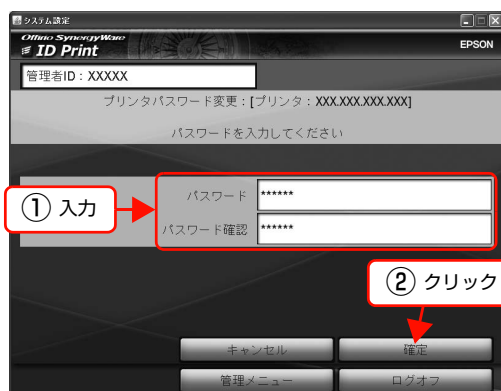
11 ［印刷ファイルアクセス許可設定］をクリックします。

12 ［許可しない］（初期設定）が選択されていることを確認して、［確定］をクリックします。

セキュアな印刷環境を確保するため、通常は初期設定のままで使用してください。

設定チェックシートの③を確認してください。

☞ 本書 88 ページ「設定チェックシート」

13 ［OK］をクリックします。

14 ［プリンタ設定］をクリックします。

15 設定するプリンタのIPアドレスを選択または入力し、[確定]をクリックします。

16 [OK]をクリックします。

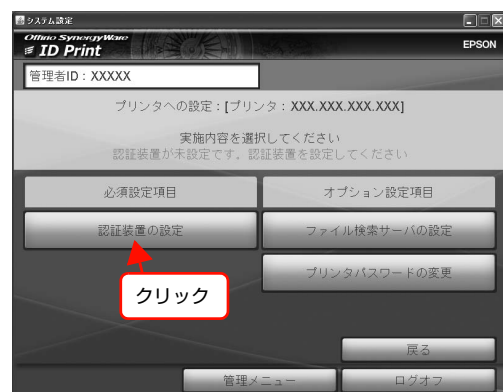
17 [パスワード]、[パスワード確認]をそれぞれ入力して、[確定]をクリックします。

パスワードは半角英数、5～10文字。英字と数字をそれぞれ1文字以上使用してください。大文字、小文字は区別して認識されます。

設定チェックシートの④を確認してください。

☞ 本書88ページ「設定チェックシート」

18 [OK]をクリックします。

19 [認証装置の設定]をクリックします。

テキストエディタで設定ファイルが開きます。

20 プリンタにオプションのハードディスクを装着したときに、印刷を中止する設定になっているか確認します。

「abort.auth.print.with.hdd=true」(初期設定)になっていれば問題ありません。設定値が「false」になっていると、オプションのハードディスクに印刷ファイルが保存されるため、情報漏えいの原因となります。

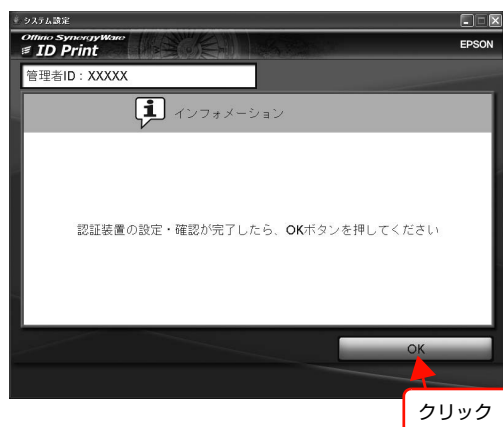
設定チェックシートの⑤を確認してください。

☞ 本書88ページ「設定チェックシート」

21 その他、必要に応じて設定内容を編集して保存し、テキストエディタを閉じます。

本ソフトウェアを使用するには、インストール後の初回起動時に、お客様が使用される認証装置・認証メディアに合わせて設定ファイルを編集する必要があります。設定方法は、設定ファイルのコメントまたは以下を参照してください。

☞ 本書 81 ページ「設定方法」

22 [OK] をクリックします。

23 [OK] をクリックします。

24 [OK] をクリックします。

25 [管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。

! 重要

「認証印刷サーバを認証時に検索させる設定」または「印刷ファイルの出力順の設定」を変更したときは、この後、プリンタ本体を再起動してください。

26 テスト印刷をして、設定ファイルが正しく設定できたか確認します。

印刷方法は以下を参照してください。

☞ 本書 50 ページ「印刷の手順」

設定チェックシートの⑥を確認してください。

☞ 本書 88 ページ「設定チェックシート」

以上で初期設定は完了です。

参考

システムの設定を変更したいときは、以下を参照してください。

☞ 本書 53 ページ「システムの詳細設定」

2 認証印刷の方法

本製品の使用方法を説明しています。

印刷

印刷の手順

クライアントから認証印刷を行います。

認証印刷を行うには、Spooler Service が起動している必要があります。サーバ経由の場合は認証印刷サーバを起動してください。

！重 要

プリンタが節電状態のときに認証操作を行うと、プリンタのウォームアップ動作*が終了するまで印刷は開始されません。

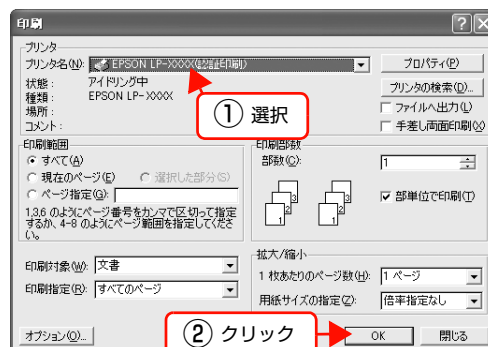
* ウォームアップ動作に要する時間はプリンタの機種によって異なります。

参考

- Spooler ServiceはWindows起動時に自動的に起動します。Spooler Service が起動しているか確認したいときは、[コントロール パネル] で [管理ツール]（Windows XP 以外）または [パフォーマンスとメンテナンス] – [管理ツール]（Windows XP）を選択し、[サービス] をダブルクリックします。表示された [サービス] ダイアログで「EpsonNet ID Print Spooler Service」の状態が [開始] と表示されていれば、Spooler Service は起動しています。
- Spooler Service が保持できる印刷ファイル数は、1 ユーザーあたり 15 ファイルまでです。
  ただし、50KB 以下の印刷ファイルが含まれる場合は、16 以上保持できることもあります。また、Spooler Service が保持できるデータ総容量の制限はありません。
- 初期設定では、印刷ファイルは、古いもの（先に印刷実行したもの）から順に印刷されます。新しい印刷ファイルから印刷するように設定したい場合は、プリンタの認証装置設定を変更してください。
  ☞ 本書 65 ページ「認証装置の設定」
- 複数の認証印刷用プリンタを登録し、その中から選択して印刷することもできます。
- 通常の印刷と併用することもできます。
  例えば、通常印刷用の「LP-XXXX」と認証印刷用の「LP-XXXX（認証印刷）」という 2 つのドライバを登録しておき、印刷時に使用したいドライバを選択します。
- 本製品は、ユニバーサルプリンタドライバでも使用できます。ユニバーサルプリンタドライバは、エプソンのホームページで、お使いの機種のダウンロードページからダウンロードできます。
  http://www.epson.jp/
  対象のプリンタドライバは以下の通りです。
  - ユニバーサルドライバ（カラー） Windows 2000/XP/Server 2003/Vista 用ドライバ ver.1.0.3fc 以降
  - ユニバーサルドライバ（モノクロ）Windows 2000/XP/Server 2003/Vista 用ドライバ ver.1.1.0fc 以降

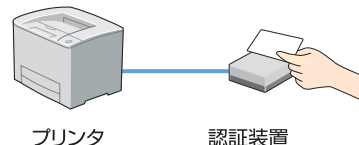
1 **印刷するアプリケーションの［印刷］ダイアログで、認証印刷用に登録したプリンタドライバを選択して、［OK］をクリックします。**

印刷ファイルが送信され、Spooler Service で保留状態になります。

<例>

2 **プリンタの場所に移動して、認証操作をします。**

認証されると、認証操作をしたユーザーが送信した印刷ファイルがプリンタから印刷されます。

<磁気カードの例>

プリンタ　認証装置

！重 要

認証操作後は、印刷物を確認し、すべての印刷が完了してからプリンタを離れてください。認証印刷中にプリンタのエラーで印刷が中断された場合、エラーが解除されると自動的に印刷が再開されます。用紙の補充やトナー交換などでプリンタの前を離れるときは、情報漏えい防止のため、プリンタ本体の「キャンセル」ボタンを押して印刷をすべて中止し、復旧後に再度認証操作をして印刷し直すことをお勧めします。

認証操作がうまくいかないときは、認証装置がきちんと接続されているか、設定ファイルが正しく設定されているかを確認してください。

☞ 本書 65 ページ「認証装置の設定」

以上で印刷は完了です。

印刷ファイルの削除

クライアントから送信した印刷ファイルを印刷する必要がなくなったときは、印刷せずにコンピュータ上で削除できます。

印刷ファイルの削除は、システムによって使用するコンピュータとソフトウェアが次の通り異なります。

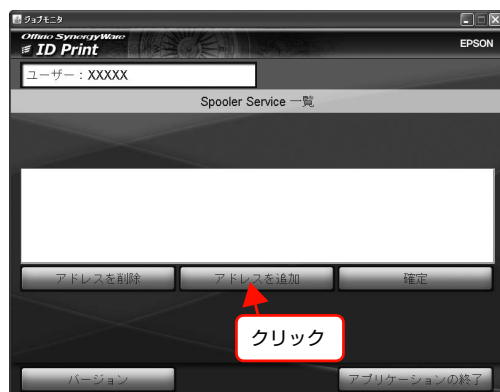
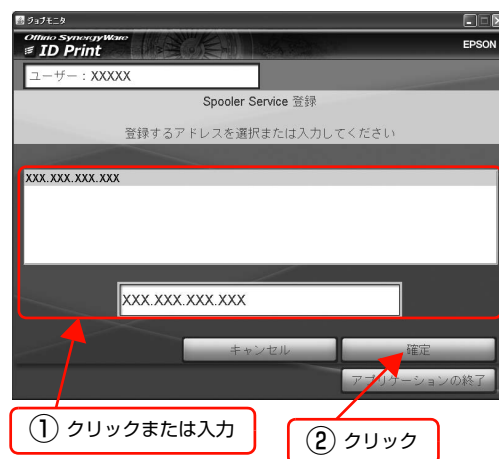
システム	コンピュータ	ソフトウェア
サーバ経由	認証印刷サーバ	システム設定 ☞ 本書 57 ページ「印刷ファイル管理」
	クライアント （ジョブモニタをインストールしている場合）	ジョブモニタ ☞ 本書 51 ページ「ジョブモニタで削除」
直接印刷	クライアント	システム設定 ☞ 本書 57 ページ「印刷ファイル管理」

ジョブモニタで削除

1 **［スタート］-［プログラム］または［すべてのプログラム］-［EpsonNet］-［EpsonNet ID Print］-［EpsonNet ID Print ジョブモニタ］の順にクリックします。**

削除したい印刷ファイルがあるコンピュータを新たに登録する場合は 2 に進みます。

登録済みのコンピュータから印刷ファイルを削除する場合は 5 に進みます。

2 **［アドレスを追加］をクリックします。**

3 **削除したい印刷ファイルがあるコンピュータの IP アドレスを、クリックまたは入力して［確定］をクリックします。**

4 **［OK］をクリックします。**

5 削除したい印刷ファイルがあるコンピュータのIP アドレスが表示されていることを確認して、［確定］をクリックします。

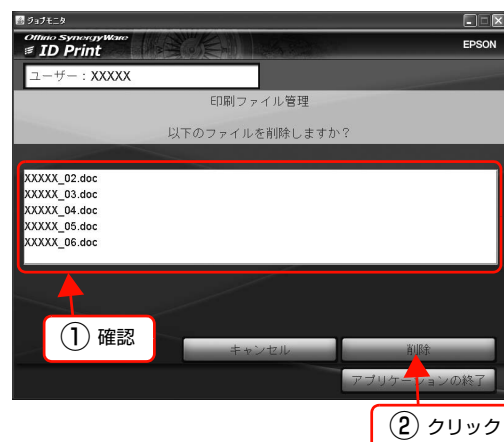
6 削除する印刷ファイルを選択して、［削除］をクリックします。

参考

1 ページに表示しきれない印刷ファイルがある場合は、［◀ 1/2 ▶］のような表示になります。
［◀］［▶］をクリックしてページを切り替えて印刷ファイルを選択してください。

項目名またはその他のボタンをクリックすると以下のようになります。
［ファイル名］：印刷ファイルの名前順に並び替え（クリックするとボタンの中に、昇順は▲、降順は▼と表示されます。）
［印刷時刻］：印刷ファイルの送付順に並び替え（クリックするとボタンの中に、新しい順は▲、古い順は▼と表示されます。）
［プリンタ］：プリンタの順に並び替え
［戻る］：5 に戻る
［全解除］：すべての選択を解除
［全選択］：すべてのファイルを選択
［削除］：削除手順へ移行（7 の操作）
［更新］：表示内容を最新の情報に更新

7 印刷ファイル名を確認して、［削除］をクリックします。

印刷ファイルが削除されます。

8 ［リストに戻る］をクリックします。

印刷ファイルリストの画面に戻ります。

以上で印刷ファイルの削除は完了です。

3 システムの詳細設定

「システム設定」で行う印刷ファイル管理やシステムの設定について説明します。

起動と終了

「システム設定」はシステム設定用のソフトウェアです。初期設定が済んでいれば、印刷時に起動する必要はありません。

起動

システム設定は、サーバ経由の場合は認証印刷サーバ、直接印刷の場合はクライアントで動作します。以下の手順でシステム設定を起動します。

1 **サーバ経由の場合は認証印刷サーバ、直接印刷の場合はクライアントの Windows を起動します。**

2 **［スタート］-［プログラム］または［すべてのプログラム］-［EpsonNet］-［EpsonNet ID Print］-［EpsonNet ID Print システム設定］の順にクリックします。**

本製品をインストール後、初めて起動した場合は、初期設定をしてください。

☞ 本書 44 ページ「システムの初期設定」

> **参考**
>
> 本ソフトウェアが使用するポート番号がほかで使用されていると、システム設定を起動したときにエラーメッセージが表示されます。対処法については以下を参照してください。
>
> ☞ 本書70ページ「システム設定を起動すると、ポート設定に関するエラーが表示される」

3 **［管理者ログオン］画面で管理者IDとパスワードを入力して、［確定］をクリックします。**

> **参考**
>
> キーボードが接続されていないコンピュータから文字を入力する場合は、ID Print の起動後、画面のキーボードアイコンをクリックしてください。画面上で入力できる状態になります。
>
>

以上でシステム設定の起動は完了です。

終了

以下の手順でシステム設定を終了します。

1 **［ログオフ］が表示された画面で［ログオフ］をクリックします。**

管理メニューの例

2 **［アプリケーションの終了］をクリックします。**

3 ［OK］をクリックします。

システム設定を終了して Windows に戻ります。

画面右上の［×］をクリックしても終了できます。

以上でシステム設定の終了は完了です。

バージョンの確認

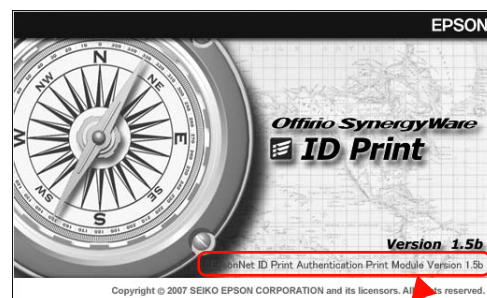
システム設定と Spooler Service のバージョンを確認できます。

1　システム設定を起動して、[管理者ログオン] 画面を表示します。

- [スタート] - [プログラム] または [すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet ID Print] - [EpsonNet ID Print システム設定] の順にクリックします。
- システム設定にログオンしている場合は、[ログオフ] をクリックします。

管理メニューの例

2　[バージョン] をクリックして、本ソフトウェアのバージョンを確認します。

「EpsonNet ID Print Authentication Print Module Version 1.5b」と表示されていることを確認してください。このバージョンは、システム設定と Spooler Service のバージョンを示しています。

確認後、画面の上でクリックして、バージョンの表示を終了してください。

以上でバージョンの確認は完了です。

印刷ファイル管理

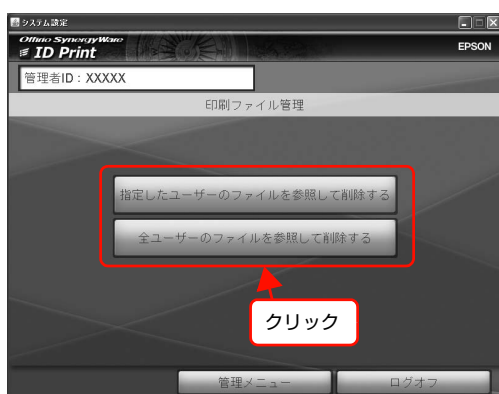
印刷ファイル管理では Spooler Service が保持しているファイルを削除できます。
次の項目があります。

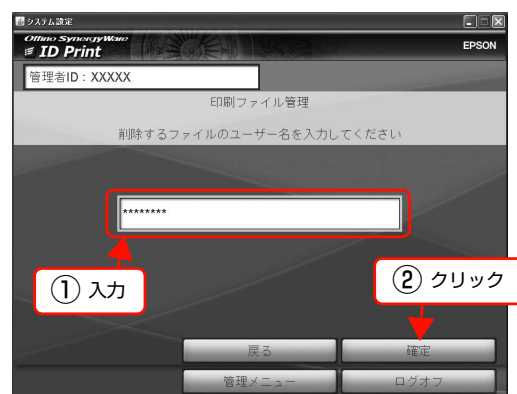
項目	内容
指定したユーザーのファイルを参照して削除する	特定のユーザーの保留ファイルを削除します。
全ユーザーのファイルを参照して削除する	全ユーザーの保留ファイルを削除します。

1 **［管理メニュー］画面で［印刷ファイル管理］をクリックします。**

サーバ経由の場合は 2 に進みます。
直接印刷の場合は 4 に進みます。

2 **［指定したユーザーのファイルを参照して削除する］または［全ユーザーのファイルを参照して削除する］をクリックします。**

［指定したユーザーのファイルを参照して削除する］を選択した場合は 3 に進みます。
［全ユーザーのファイルを参照して削除する］を選択した場合は 4 に進みます。

3 **ユーザー識別子（ユーザー名）を入力して、［確定］をクリックします。**

パターン①②でセットアップした場合のユーザー識別子は、クライアントのログオン名です。
パターン③でセットアップした場合のユーザー識別子は、セットアップ時に登録したユーザー識別情報です。

4 **削除する印刷ファイルを選択して、［削除］をクリックします。**

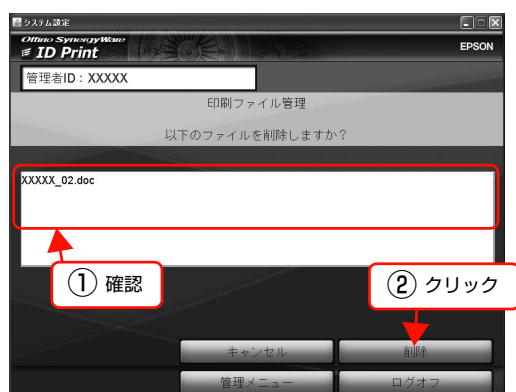
2 で［全ユーザーのファイルを参照して削除する］をクリックした場合は、ファイル名の横にユーザーの識別子が表示されています。

参考

1 ページに表示しきれない印刷ファイルがある場合は［ ◀ 1/2 ▶ ］のように表示されます。
［ ◀ ］［ ▶ ］をクリックしてページを切り替えて印刷ファイルを選択してください。

項目名またはその他のボタンをクリックすると以下のようになります。
[ファイル名]：印刷ファイルの名前順に並び替え（クリックするとボタンの中に、昇順は▲、降順は▼と表示されます。）
[印刷時刻]：印刷ファイルの送付順に並び替え（クリックするとボタンの中に、新しい順は▲、古い順は▼と表示されます。）
[プリンタ]：プリンタの順に並び替え
[戻る]：2 に戻る
[全解除]：すべての選択を解除
[全選択]：すべての印刷ファイルを選択
[削除]：削除手順へ移行（5 の操作）
[更新]：表示内容を最新の情報に更新

5 削除する印刷ファイルを確認して、[削除] をクリックします。

印刷ファイルが削除されます。

6 削除を続けるときは、[リストに戻る] をクリックします。それ以外は、[管理メニュー] または [ログオフ] をクリックします。

削除を続ける場合は 4 以降の手順を繰り返します。

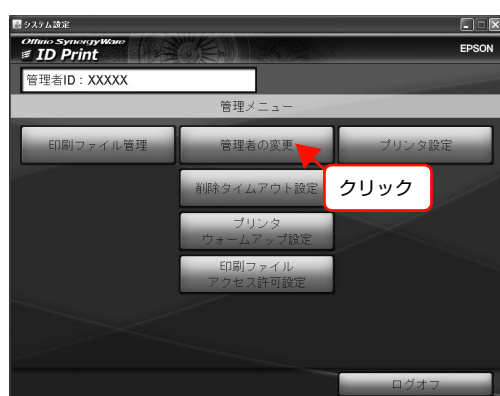
以上で印刷ファイル管理は完了です。

管理者の変更

管理者の変更では以下の操作ができます。

項目	内容
パスワードの変更	管理者のパスワード変更をします。
管理者の追加	管理者を追加します。
管理者の削除	管理者の削除をします。

パスワード変更

1 **[管理メニュー]画面で[管理者の変更]をクリックします。**

2 **[パスワード変更]をクリックします。**

3 **新しいパスワードを[新パスワード]、[パスワード確認]に入力して[確定]をクリックします。**

パスワードは半角英数、5～10文字。英字と数字をそれぞれ1文字以上使用してください。

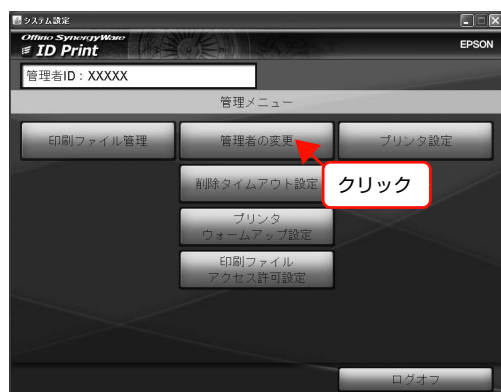
4 **[OK]をクリックします。**

[管理者の変更]画面に戻ります。

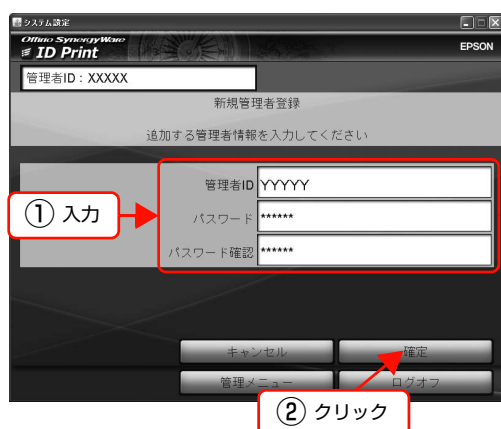
5 **[管理メニュー]または[ログオフ]をクリックします。**

以上でパスワードの変更は完了です。

管理者の追加

1 **［管理メニュー］画面で［管理者の変更］をクリックします。**

2 **［管理者の追加］をクリックします。**

3 **［管理者 ID］、［パスワード］、［パスワード確認］をそれぞれ入力して、［確定］をクリックします。**

管理者 ID は半角英数、5 ～ 10 文字。
パスワードは半角英数、5 ～ 10 文字。英字と数字をそれぞれ 1 文字以上使用してください。
いずれも、大文字、小文字は区別して認識されます。

4 **［OK］をクリックします。**

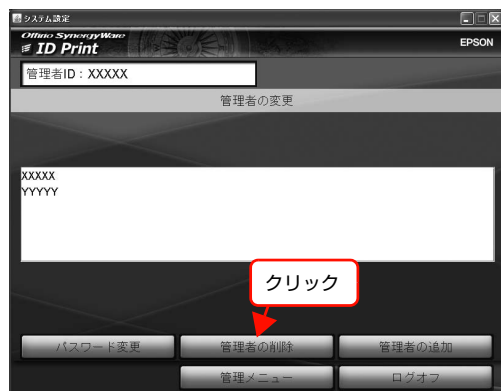
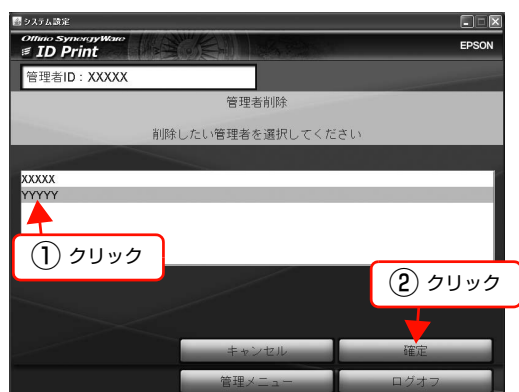
［新規管理者登録］画面に戻ります。

5 **［管理メニュー］または［ログオフ］をクリックします。**

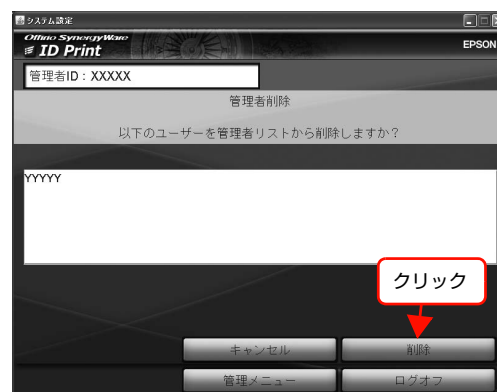
以上で管理者の追加は完了です。

管理者の削除

1 **[管理メニュー]画面で[管理者の変更]をクリックします。**

2 **[管理者の削除]をクリックします。**

3 **削除する管理者をクリックして選択し、[確定]をクリックします。**

参考

キーボード入力の場合、[Ctrl]キーを押したままクリックすると複数選択ができます。

4 **[削除]をクリックします。**

5 **[OK]をクリックします。**

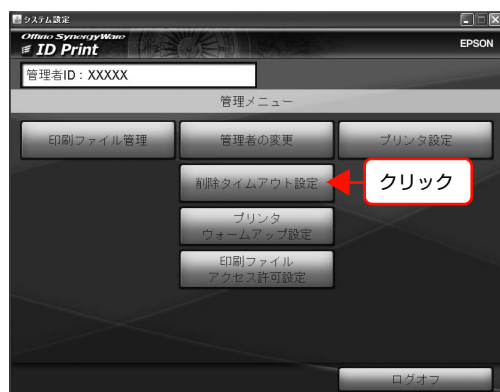
「管理者の変更」画面に戻ります。

6 **[管理メニュー]または[ログオフ]をクリックします。**

以上で管理者の削除は完了です。

削除タイムアウト設定

保留印刷ファイルを自動削除するまでの時間を設定します。

1 **［管理メニュー］画面で［削除タイムアウト設定］をクリックします。**

2 **設定時間を入力して、［確定］をクリックします。**

初期状態では 1 時間に設定されています。1 時間単位で 1 ～ 24 の半角数字を入力します。

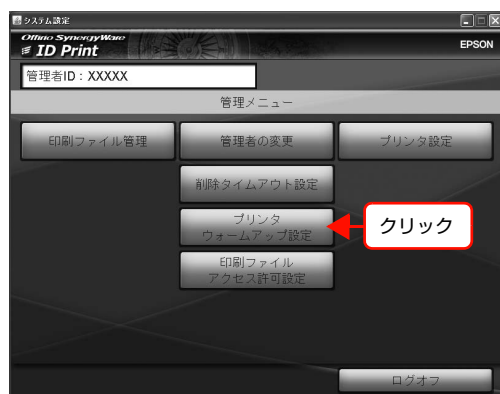
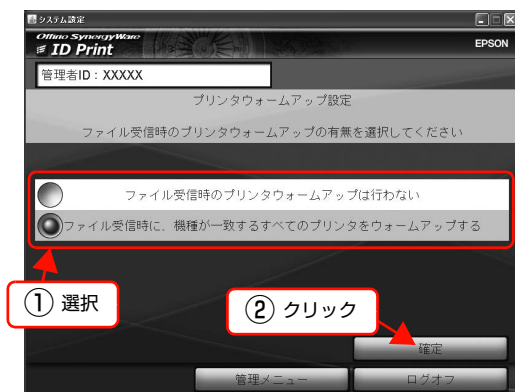
3 **［管理メニュー］をクリックします。**

以上で削除タイムアウト設定は完了です。

プリンタウォームアップ設定

認証印刷時に、すぐに印刷を開始できるようあらかじめプリンタをウォームアップするかを設定します。
ウォームアップするように設定すると、Spooler Service が印刷ファイルを受信したときにプリンタがウォームアップを開始します。

- 同一ルーター内にある同一機種のすべての認証印刷用プリンタで、ウォームアップが行われます。
- ユニバーサルドライバを利用した場合には、ウォームアップは行われません。

1　「管理メニュー」画面で［プリンタウォームアップ設定］をクリックします。

2　［ファイル受信時のプリンタウォームアップは行わない］または［ファイル受信時に、機種が一致するすべてのプリンタをウォームアップする］を選択し、［確定］をクリックします。

3　［OK］をクリックします。
「管理メニュー」画面に戻ります。

以上でプリンタウォームアップ設定は完了です。

プリンタ設定

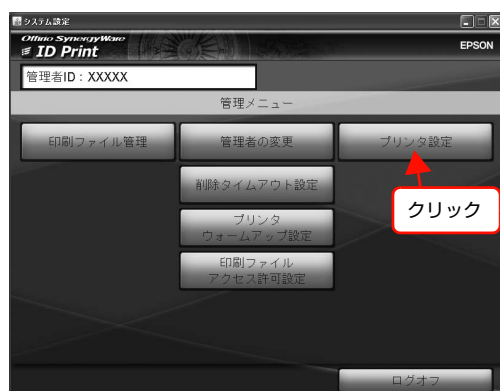
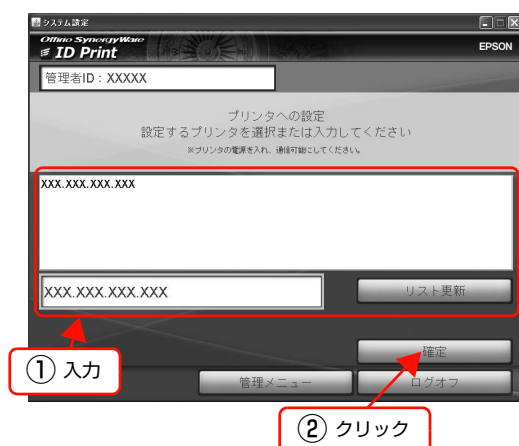
プリンタ設定では以下の操作ができます。

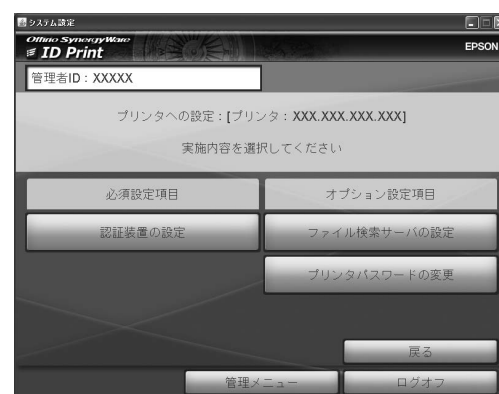
項目	内容
認証装置の設定	設定ファイルを編集して、認証装置の設定をします。
ファイル検索サーバの設定	アクセスするコンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）の追加や削除をします。Spooler Service をインストールしたコンピュータは、サーバ経由の場合は認証印刷サーバ、直接印刷の場合はクライアントを指します。
プリンタパスワードの変更	プリンタへの設定をするためのパスワードを変更します。

設定するプリンタの選択

プリンタ設定の各項目とも、設定対象となるプリンタを選択し、表示されるプリンタ設定画面で設定や変更を行います。

プリンタの選択方法は以下の通りです。

1 ［管理メニュー］画面で［プリンタ設定］をクリックします。

2 設定するプリンタのIPアドレスを選択または入力し、［確定］をクリックします。

3 プリンタパスワードを入力し、［確定］をクリックします。

プリンタ設定画面が表示されます。

この画面で、各項目の設定や変更を行います。

- 認証装置の設定：
  ☞ 本書 65 ページ「認証装置の設定」
- ファイル検索サーバの設定：
  ☞ 本書 66 ページ「ファイル検索サーバの設定」
- プリンタパスワードの変更：
  ☞ 本書 68 ページ「プリンタパスワードの変更」

以上でプリンタの選択は完了です。

認証装置の設定

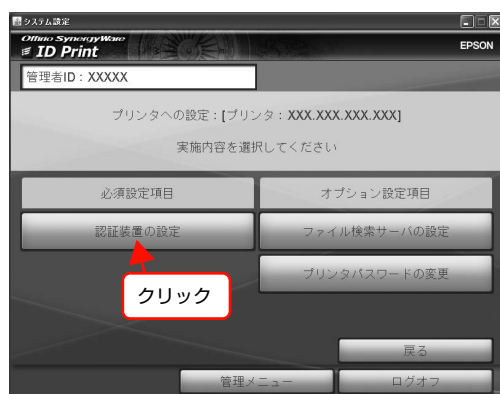
以下の場合に設定を変更します。

- 認証装置を変更したとき
- FeliCaカードや磁気カードなどの認証メディアに登録した情報を変更したとき
- プリンタからのSpooler Serviceの自動検索を無効にし、高速化したとき
- 印刷ファイルの出力順を変更したいとき

1 **以下を参照して、設定対象となるプリンタを選択します。**

☞ 本書 64 ページ「設定するプリンタの選択」

2 **[認証装置の設定]をクリックします。**

テキストエディタで設定ファイルが開きます。

3 **設定ファイルを編集して保存し、テキストエディタを閉じます。**

設定方法は、設定ファイルのコメントまたは以下を参照してください。

☞ 本書 81 ページ「設定方法」

printset_usr_nic.txt - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

```
#ファイルを保存後、「OK」ボタンによりプリンタに送信してください

#-----------------------------------------------------------------------
#■1.設定部
#※設定方法は、「2.設定方法」を参照してください

#▼認証印刷サーバを認証時に検索させる設定
#  true 実施 / false 実施しない
#  この項目を変更したときは、必ずプリンタを再起動してください
#  falseに設定するときは、認証印刷サーバを必ず設定してください
spooler.service.auto.detect=false

#▼認証装置の設定
#デフォルトはPaSoRiを用いてFeliCa ID(IDm)を取得する認証装置設定です
#  他の設定をする場合はコメントアウト記号の"#"を編集し、
#  環境に合わせて"*"部分を書き換えてください
#▽認証装置の形式
authenticate.device.type=PASORI
authenticate.type=CharacterMatch
#▽読み取り方式設定
felica.rw.timeout=1000
felica.card.read_type=id
felica.card.system_code=0xff,0xff
felica.card.data.type=hex
felica.card.data.length=8
felica.card.data.id.offset=0
felica.card.data.id.length=8

#---FeliCa のサービス領域から情報を取得する場合---
#▽認証装置の形式
#authenticate.device.type=PASORI
#authenticate.type=CharacterMatch
```

4 **[OK]をクリックします。**

5 **[OK]をクリックします。**

6 **[OK]をクリックします。**

以上で認証装置の設定は完了です。

> **! 重要**
>
> 「認証印刷サーバを認証時に検索させる設定」または「印刷ファイルの出力順の設定」を変更したときは、この後、プリンタ本体を再起動してください。

ファイル検索サーバの設定

通常、認証印刷を行うと、コンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）を自動的に検索し、印刷ファイルを取得して印刷します。

ここでは、自動検索でコンピュータが見つからないときに、検索対象のコンピュータの IP アドレスを設定し、そのコンピュータの印刷ファイルを取得できるようにします。

以下のようなときに、ここでコンピュータの IP アドレスを設定します。

- 同一ルーター外にあるコンピュータから、印刷ファイルを取得したいとき
- 同一ルーター内のコンピュータから自動検索して印刷ファイルを取得できないとき
- コンピュータの自動検索を無効にしたとき

！重要

- コンピュータの自動検索を無効にしたときは、印刷ファイルを取得するために必ずIPアドレスを設定してください。
- 自動検索を無効にして IP アドレスを設定しなかったときは、認証操作後に、プリンタのパネルに「server error」が表示され、印刷データを取得できません。

ファイル検索サーバの設定では以下の操作ができます。

項目	内容
アドレスを追加	印刷ファイルの検索対象となるコンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）の IP アドレス追加をします。Spooler Service をインストールしたコンピュータは、サーバ経由の場合は認証印刷サーバ、直接印刷の場合はクライアントを指します。
アドレスを削除	コンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）の IP アドレス削除をします。

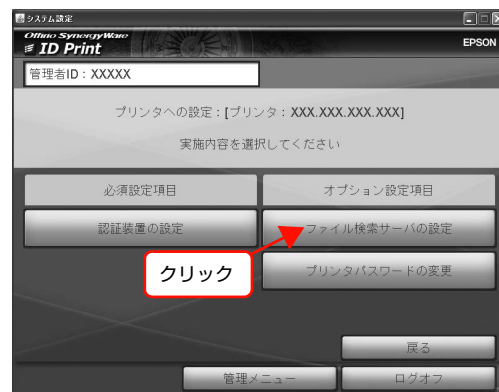
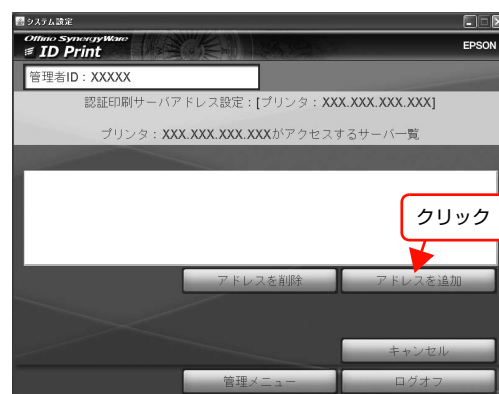
！重要

検索先のコンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）の電源を入れ、ネットワーク通信可能な状態で設定してください。ファイル検索サーバ設定は、設定をしたコンピュータのみに適用になります。

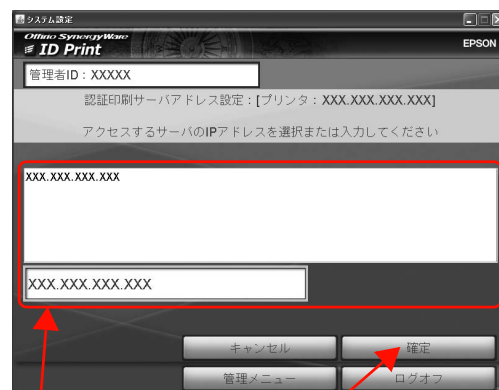
アドレスの追加

1 **以下を参照して、設定対象となるプリンタを選択します。**

本書 64 ページ「設定するプリンタの選択」

2 **［ファイル検索サーバの設定］をクリックします。**

3 **［アドレスを追加］をクリックします。**

4 **追加するコンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）の IP アドレスをクリックまたは入力して、［確定］をクリックします。**

同一ルーター内のコンピュータは、一覧表示されますので選択してください。

同一ルーター外のコンピュータの場合は、IP アドレスを入力してください。

5 ［OK］をクリックします。

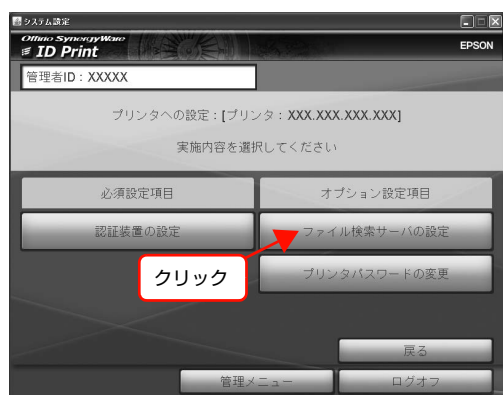
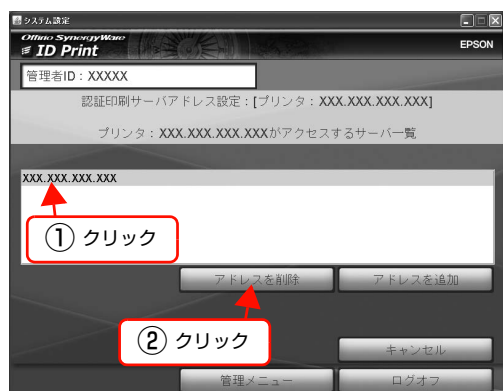
6 ［管理メニュー］または［ログオフ］をクリックします。

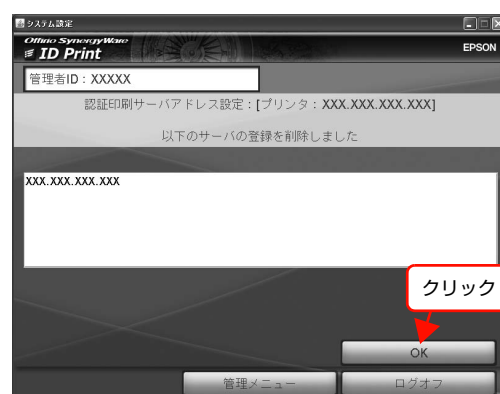
以上でアドレス追加は完了です。

アドレスの削除

1 以下を参照して、設定対象となるプリンタを選択します。

☞ 本書 64 ページ「設定するプリンタの選択」

2 ［ファイル検索サーバの設定］をクリックします。

3 リストから削除するコンピュータ（Spooler Service をインストールしたコンピュータ）の IP アドレスをクリックして［アドレスを削除］をクリックします。

4 ［削除］をクリックします。

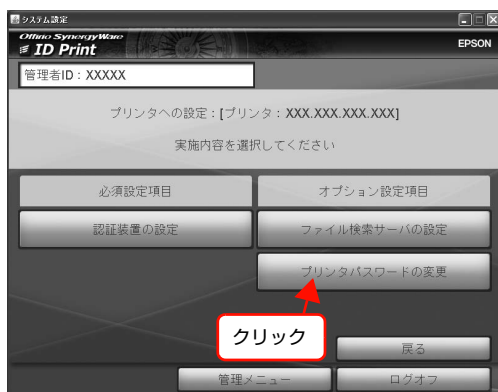
5 ［OK］をクリックします。

6 ［管理メニュー］または［ログオフ］をクリックします。

以上でアドレス削除は完了です。

プリンタパスワードの変更

1 **以下を参照して、設定対象となるプリンタを選択します。**

本書 64 ページ「設定するプリンタの選択」

2 **［プリンタパスワードの変更］をクリックします。**

3 **これまで使っていたパスワードを［現パスワード］に、新しいパスワードを［新パスワード］と［パスワード確認］に入力して［確定］をクリックします。**

パスワードは半角英数、5 ～ 10 文字。英字と数字をそれぞれ 1 文字以上使用してください。大文字、小文字は区別して認識されます。

4 **［OK］をクリックします。**

「プリンタへの設定」画面に戻ります。

5 **［管理メニュー］または［ログオフ］をクリックします。**

以上でパスワードの変更は完了です。

4 こんなときは

困ったときの対処方法などを説明しています。

トラブルシューティング

思い通りにできないときやトラブルが発生したときは、下記を参照し、状況に応じて対処してください。

設定が完了できない

設定ファイルの内容を削除してしまい復旧できない、ファイル自体を削除してしまった

設定ファイルを再度作成してください。

☞ 本書 80 ページ「設定ファイルの復旧方法」

システム設定を起動すると、ポート設定に関するエラーが表示される

エラーメッセージを確認し、ポート設定を変更してください。

☞ 本書 74 ページ「システム設定またはジョブモニタに表示されるエラーメッセージ」

コンピュータのホスト名には、半角英数字を使用してください。

コンピュータのホスト名は、日本語を使用するとエラーになることがありますので、半角英数字を使用してください。

「Windows セキュリティの重要な警告」のポップアップ画面が表示される（Windows XP SP2 以降）

［ブロックを解除する］を選択してください。

［ブロックする］を選択すると、システム設定のプリンタ設定でプリンタの自動検索ができなくなります。

プリンタ設定でプリンタの自動検索ができない

ネットワーク設定に誤りがある可能性があります。

PRIFNW7S の IP アドレス、DNS が正しく設定されているか確認してください。

それでも解決しないときは、PRIFNW7S に「application error/ アプリケーションエラー」が発生している可能性があります。以下を参照してエラーを解消してください。

☞ 本書 78 ページ「エラーメッセージ」

Windowsファイアウォールの設定でJavaを無効にしてください。（Windows XP SP2 以降）

① ［スタート］—［コントロールパネル］—［セキュリティセンター］—［Windows ファイアウォール］の順に開きます。

② ［例外］タブをクリックし、［Java(TM) Platform SE binary］をチェックします。

マルチホーム環境*でプリンタ設定時に、プリンタと通信ができない

* マルチホーム環境とは、1台のコンピュータに複数のネットワークカードを接続して、IP アドレスを2つ以上持っている状態のことです。

設定ファイルの記載を確認してください。

詳細は以下を参照してください。

☞ 本書44ページ「マルチホーム環境で利用するための設定」

印刷ができない

印刷ファイル送信時クライアントでエラーが表示される

ネットワーク接続を確認してください。

印刷を実行するクライアントとデータを受信する認証印刷サーバのネットワーク通信が可能かどうか、以下の方法で確認してください。

① ［スタート］-［プログラム］または［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

② ping xxx.xxx.xxx.xxx（xxx はサーバの IP アドレス）を入力し［Enter］キーを押します。

③ ［Reply　from…］と表示された場合はネットワークに問題ありません。
［Request timed out］の場合はネットワーク通信ができていません。認証印刷サーバが起動しているか、またはネットワーク環境を確認してください。

Spooler Service の起動状態を確認してください。

［スタート］—［コントロールパネル］—［管理ツール］—［サービス］から［EpsonNet ID Print Spooler Service］が起動しているか確認してください。

コンピュータに登録されているプリンタドライバの設定を確認してください。

認証印刷用に設定されたプリンタドライバのプロパティで以下を確認してください。

- ポートに［Standard TCP/IP Port］が選択されていること（パターン①②④でセットアップした場合）
- ポートに［EpsonNet ID Print Port］が選択されていること（パターン③⑤でセットアップした場合）
- IPアドレスがSpooler Serviceをインストールしたコンピュータのものであること

印刷ファイル数を確認してください。

Spooler Service が保持できる印刷ファイル数は、1 ユーザーあたり 15ファイルまでです。ただし、50KB 以下の印刷ファイルが含まれる場合は、16 以上保持できることもあります。また、Spooler Service が保持できるデータ総容量の制限はありません。

「EpsonNet Print」をアンインストールしていないか確認してください。（セットアップパターン③⑤の場合）

セットアップパターン③の［クライアント用ソフトウェアのインストール］を実行すると「EpsonNet ID Print クライアント」と「EpsonNet Print」がインストールされます。またセットアップパターン⑤の［クライアント用ソフトウェアのインストール］を実行すると「EpsonNet ID Print 直接印刷」と「EpsonNet Print」がインストールされます。

☞ 本書28ページ「パターン③のセットアップ手順」
☞ 本書39ページ「パターン⑤のセットアップ手順」

「EpsonNet Print」をアンインストールしてしまうと、以降そのクライアントからは認証印刷ができなくなります。

「EpsonNet Print」をアンインストールしてしまった場合は、一旦「EpsonNet ID Print クライアント」または「EpsonNet ID Print 直接印刷」もアンインストールした後、再度［クライアント用ソフトウェアのインストール］と設定をしてください。

Windows ファイアウォールが有効になっていませんか？

Windows ファイアウォールを無効にするか、例外のプログラムおよびポートを追加してください。

☞ 本書84ページ「Windowsファイアウォールの例外設定」

認証操作をしても反応しない

プリンタの準備が完了するまでお待ちください。

プリンタの準備が完了していないと認証操作を行っても反応しません。プリンタの操作パネルに「ID Print Ready」または「ID Print 準備完了」のメッセージが表示されれば準備完了です。ただし、プリンタの他のメッセージが上書きされて見えなくなることもあります。認証操作を行ったときに、「ID ok」、「ID error」などのメッセージが表示されれば準備は完了しています。

なお、プリンタ起動から準備完了まで 2 分以上かかる場合があります。

認証に成功しても印刷が始まらない

プリンタの状態を確認してください。

プリンタの操作パネルにエラーが表示されていないか確認してくだい。エラーを解除すると自動的に印刷が再開されます。

クライアントにログオンしたユーザーと認証操作をしたユーザーが同一か確認してください。

印刷ファイルを送信したクライアントのログオン情報と、認証操作をしたユーザーの情報が一致しないと印刷されません。

設定ファイルを確認してください。

設定ファイルの内容が、使用している認証装置や認証メディアに合わせて正しく設定されているか確認してください。

☞ 本書 65 ページ「認証装置の設定」

Spooler Service がインストールされているコンピュータで Windows スプール画面を確認してください。

Spooler Service が保持できる印刷ファイル数は、1 ユーザーあたり 15ファイルまでです。ただし、50KB 以下の印刷ファイルが含まれる場合は、16 以上保持できることもあります。また、Spooler Service が保持できるデータ総容量の制限はありません。

パターン③⑤でセットアップした（EpsonNet ID Print Port を使用している）場合、16 ファイル以降はクライアントのWindowsスプーラに残ったままエラーになります。Windows スプーラからキャンセルするか再印刷を行ってください

マルチホーム環境*で利用するときは、Spooler Service で認証印刷が利用する IP アドレスを設定してください。

* マルチホーム環境とは、1 台のコンピュータに複数のネットワークカードを接続して、IP アドレスを2つ以上持っている状態のことです。

詳細は以下を参照してください。

☞ 本書44ページ「マルチホーム環境で利用するための設定」

プリンタドライバで［パスワード印刷］の設定をしていませんか？

プリンタドライバで［パスワード印刷］の設定をしている状態で、本製品で認証印刷をすると、印刷できないことがあります。［パスワード印刷］機能に対応しているプリンタを使用する際は、プリンタドライバの［パスワード印刷］の設定を無効にしてください。

プリンタのパネルに「no job file」と表示される。

プリンタの機種に対応した印刷ファイルか確認してください。

Spooler Service にファイルが保持されていても、認証を行ったプリンタの機種とファイルを作成したプリンタドライバの機種が異なっていると印刷できません。作成した印刷ファイルと同一機種のプリンタで認証操作を行ってください。

削除タイムアウト設定を確認してください。
初期設定では、クライアントから送信した印刷ファイルを印刷しないまま放置すると、1時間後に自動的に削除されます。
☞ 本書 62 ページ「削除タイムアウト設定」

プリンタと Spooler Service をインストールしたコンピュータがネットワーク通信できているか確認してください。
プリンタと Spooler Service をインストールしたコンピュータがネットワーク通信できていないと、データを取得することができません。ケーブルやネットワーク機器に問題がなく通信が確立されているにも関わらずファイルが見つからないときは、システム設定のプリンタ設定を確認してください。
☞ 本書 64 ページ「プリンタ設定」

プリンタドライバの設定を確認してください。
セットアップパターンに応じて以下を参照し、ポートの設定が正しいことを確認してください。
パターン①：☞ 本書 14 ページ「ポートの設定と共有の設定」
パターン②：☞ 本書 24 ページ「ポートの設定」
パターン③：☞ 本書 32 ページ「ポートの設定」

プリンタの認証装置設定を確認してください。
☞ 本書 65 ページ「認証装置の設定」
☞ 本書 80 ページ「設定ファイルの復旧方法」

コンピュータのホスト名には、半角英数字を使用してください。
コンピュータのホスト名は、日本語を使用するとエラーになることがありますので、半角英数字を使用してください。

Windows ファイアウォールが有効になっていませんか？
Windows ファイアウォールを無効にするか、例外のプログラムおよびポートを追加してください。
☞ 本書84ページ「Windowsファイアウォールの例外設定」

途中で途切れたデータが印刷される

Windows スプーラからキャンセルしたデータは Spooler Service からも削除してください。
クライアントから印刷ファイルを送信中にWindows スプーラからキャンセルすると、キャンセル操作前に Spooler Service に送信された一部のデータは Spooler Service に残ります。システム設定の［印刷ファイル管理］画面、またはジョブモニタの印刷ファイルリストを確認して削除してください。

Standard TCP/IPのLPR利用時、印刷データの送信速度が異常に遅い

Raw ポートを利用してください。
詳細は Microsoft のホームページをご覧ください。
Raw ポートの設定については、セットアップパターンに応じて以下を参照してください。
パターン①：☞ 本書 14 ページ「ポートの設定と共有の設定」
パターン②：☞ 本書 24 ページ「ポートの設定」
パターン④：☞ 本書 37 ページ「ポートの設定」

印刷ファイルを削除できない

ジョブモニタまたはシステム設定の「印刷ファイル管理」画面から、印刷ファイルが削除できない（印刷ファイルリストに表示されない）

削除タイムアウト設定を確認してください。
初期設定では、クライアントから送信した印刷ファイルを印刷しないまま放置すると、1時間後に自動的に削除されます。タイムアウトで削除された印刷ファイルは、印刷ファイルリストには表示されません。
印刷ファイルリストを表示中に削除タイムアウトで設定した時間が経過すると、印刷ファイルリストに表示だけが残りファイル自体は削除されます。
☞ 本書 62 ページ「削除タイムアウト設定」

印刷ファイル数を確認してください。
Spooler Service が保持できる印刷ファイル数は、1 ユーザーあたり 15 ファイルまでです。16 ファイル以降は印刷ファイルリストには表示されず、Windows スプーラに残ります。
ただし、50KB 以下の印刷ファイルが含まれる場合は、16 以上保持できることもあります。また、Spooler Service が保持できるデータ総容量の制限はありません。

プリンタのステータス取得のトラブル

認証印刷用に設定したプリンタアイコンで、エプソンプリンタ監視ユーティリティが利用できない

エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3）は通常印刷用のプリンタアイコンに設定してください。

認証印刷用に設定したプリンタアイコンからはEPSON ステータスモニタや EPSON プリンタウィンドウ !3 を利用したプリンタのステータス確認はできません。

認証印刷用プリンタアイコンでは、プリンタプロパティの［環境設定］タブで［オプション情報を手動で設定］をオンにしてください。

［印刷］をクリックした後、エプソンプリンタ監視ユーティリティ（EPSON ステータスモニタやEPSON プリンタウィンドウ !3）がエラー表示する

プリンタプロパティの［ユーティリティ］タブでプリンタ監視を行わない設定をしてください。

EPSON ステータスモニタでは［通知設定］画面で［印刷中のプリンタを監視する］のチェックを外してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 では［モニタ設定］画面で［通信不可］、［通信エラー］のチェックを外してください。

プリンタプロパティを表示するときにメッセージが表示され、プロパティの表示に時間がかかる。

プリンタプロパティの［環境設定］タブで［オプション情報を手動で設定］をオンにしてください。

Active Directory 環境でのトラブル

インストールできない

ドメインコントローラの時計を確認してください。

ドメインコントローラが複数のときは、各ドメインコントローラの時計が大幅にずれているとインストーラが正常に動作しないことがあります。

インストールのときに作成したユーザーが、アンインストールしても消えない

5分程度待ってから確認してください。

ドメインコントローラが複数のときは、削除情報を複数のドメインコントローラに伝えるため、アンインストールしてからユーザーが消えるのに最大 5 分程度時間がかかることがあります。

システム設定が起動しない

本ソフトウェアをインストール後、コンピュータの環境を変更していないか確認してください。

- ドメインコントローラのコンピュータに本ソフトウェアをインストールした状態で、ドメインメンバーに降格させると、本ソフトウェアは動作しません。
  本ソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールしてください。
- ドメインメンバーのコンピュータに本ソフトウェアをインストールした状態で、ドメインコントローラに昇格させると、本ソフトウェアは動作しません。
  本ソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

メッセージ一覧

システム設定（コンピュータ）やプリンタに表示されるメッセージについて説明します。エラーの場合は、エラーメッセージの内容、または以下に記載されている対処方法に従って対処してください。

システム設定またはジョブモニタに表示されるエラーメッセージ

エラーメッセージ	状況・対処方法
IP アドレスのフォーマットが不適切です。入力を確認してください。	IP アドレスのフォーマットが正しくありません。「xxx.xxx.xxx.xxx」（x は数字）の形式で、正しい IP アドレスを入力し直してください。
Spooler Service が正常に動作していないため、設定できません。 管理者ガイド（PDF）を参照して、対処してください。	Spooler Service が起動していません。Spooler Service をインストールしたコンピュータを起動してください。コンピュータが起動しているときは、[スタート] − [コントロールパネル] − [管理ツール] − [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を起動してください。 上記を試しても復帰しないときは、以下を確認してください。 アプリケーション通信用ポートの番号（初期値：59201）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。 ①Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由：¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset_ep_spooler_service 直接印刷：¥Server¥directPrint¥Spooler¥printset_ep_spooler_service ②「message.service.plugin.port.number=59201」の部分を編集します。 ③Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由（サーバ）： ¥Server¥viaServer¥Controller¥printset_ep_settingapp_server サーバ経由（クライアント）：¥Client¥viaServer¥printset_ep_cancel_app 直接印刷：¥Client¥directPrint¥Controller¥printset_ep_settingapp_direct ④「message.service.plugin.specified.dest.port=59201」の部分を編集します。 ⑤認証装置のファイルに、以下の項目を書き加えます。 「message.service.plugin.specified.dest.port=ｘｘｘ」（ｘｘｘ は設定するポート番号） 本書 65 ページ「認証装置の設定」 ⑥[スタート] − [コントロールパネル] − [管理ツール] − [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を再起動します。 * 設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print 以下を記載しています。
Spooler Service が設定されていません	アクセスする Spooler Service が選択されていない状態で「確定」ボタンを押しました。「アドレスを追加」から、アクセスする Spooler Service を登録してください。
Spooler Service との通信ができませんでした。 管理者ガイド（PDF）を参照して、対処してください。	Spooler Service が起動していません。Spooler Service をインストールしたコンピュータを起動してください。コンピュータが起動しているときは、[スタート] − [コントロールパネル] − [管理ツール] − [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を起動してください。
Spooler Service は LPD ポートからの印刷ファイル受信はできません	LPD ポート(515)が、UNIX 用印刷サービスなどですでに使用されています。Windows で UNIX 用印刷サービスが動作しているときは、本システムで LPR 通信を利用できません。UNIX 用印刷サービスを停止するか、RAW 印刷を利用してください。

エラーメッセージ	状況・対処方法
Spooler Service は印刷ファイル受信ポートを利用できません	プリンタドライバに設定されている印刷ファイル受信ポートの番号（初期値：59200）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。 ①Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由：¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset_ep_spooler_service 直接印刷：¥Server¥directPrint¥Spooler¥printset_ep_spooler_service ②「job.receiving.port=59200」の部分を編集します。 ③プリンタドライバに設定されているポート番号を変更します。ポート番号の変更方法は、セットアップ手順の「ポートの設定」の項目を参照してください。 ④[スタート] ― [コントロールパネル] ― [管理ツール] ― [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を再起動します。 * 設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print 以下を記載しています。
Spooler Service はサービスロケーション探索用通信ポートを利用できません	サービスロケーション探索用通信ポートの番号（初期値：59250）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。 ①Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由：¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset_ep_spooler_service 直接印刷：¥Server¥directPrint¥Spooler¥printset_ep_spooler_service ②「multicast.port=59250」と「unicast.query.reply.port=59250」の部分を編集します。 ③Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由（サーバ）： ¥Server¥viaServer¥Controller¥printset_ep_settingapp_server サーバ経由（クライアント）：¥Client¥viaServer¥printset_ep_cancel_app 直接印刷：¥Client¥directPrint¥Controller¥printset_ep_settingapp_direct ④「multicast.port=59250」の部分を編集します。 ⑤認証装置のファイルに、以下の項目を書き加えます。 「multicast.port=ｘｘｘ」（ｘｘｘ は設定するポート番号） 本書 65 ページ「認証装置の設定」 ⑥[スタート] ― [コントロールパネル] ― [管理ツール] ― [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を再起動します。システム設定、ジョブモニタを起動しているときは、それらも再起動します。 * 設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print 以下を記載しています。
Spooler Service はファイル送信先確認ポートを利用できません。	プリンタドライバに設定されている印刷ファイル送信先確認ポートの番号（初期値：59202）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。 ①Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由：¥Server¥viaServer¥Spooler¥printset_ep_spooler_service 直接印刷：¥Server¥directPrint¥Spooler¥printset_ep_spooler_service ②「server.verification.port.number=59202」の部分を編集します。 ③パターン③⑤でセットアップした場合はプリンタドライバに設定されているポート番号を変更します。ポート番号の変更方法は、セットアップ手順の「ポートの設定」の項目を参照してください。 ④[スタート] ― [コントロールパネル] ― [管理ツール] ― [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を再起動します。 * 設定ファイルのパスは¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print 以下を記載しています。

エラーメッセージ	状況・対処方法
アプリケーション通信用ポートを利用できません	アプリケーション通信用ポートの番号（初期値：59201）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。 ①Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由（サーバ）： ￥Server￥viaServer￥Controller￥printset_ep_settingapp_server サーバ経由（クライアント）：￥Client￥viaServer￥printset_ep_cancel_app 直接印刷：￥Client￥directPrint￥Controller￥printset_ep_settingapp_direct ②「message.service.plugin.port.number=59201」の部分を編集します。 ③[スタート] ― [コントロールパネル] ― [管理ツール] ― [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を再起動します。システム設定、ジョブモニタを起動しているときは、それらも再起動します。 * 設定ファイルのパスは￥Program Files￥EpsonNet￥EpsonNet ID Print 以下を記載しています。
印刷ファイルを削除できませんでした	印刷ファイルの削除に失敗しました。再度削除を実行してください。
現在ログオン中の管理者が含まれています	管理メニューにログオン中の管理者は、自分自身の管理者 ID を削除することはできません。ほかの管理者に作業を依頼してください。
サービスロケーション探索用通信ポートを利用できません	サービスロケーション探索用通信ポートの番号（初期値：59250）が、ほかのアプリケーションですでに使用されています。ポート番号を変更してください。 ①Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由：￥Server￥viaServer￥Spooler￥printset_ep_spooler_service 直接印刷：￥Server￥directPrint￥Spooler￥printset_ep_spooler_service ②「multicast.port=59250」と「unicast.query.reply.port=59250」の部分を編集します。 ③Spooler Service がインストールされているコンピュータで以下の設定ファイル * を開きます。 サーバ経由（サーバ）： ￥Server￥viaServer￥Controller￥printset_ep_settingapp_server サーバ経由（クライアント）：￥Client￥viaServer￥printset_ep_cancel_app 直接印刷：￥Client￥directPrint￥Controller￥printset_ep_settingapp_direct ④「multicast.port=59250」の部分を編集します。 ⑤認証装置のファイルに、以下の項目を書き加えます。 「multicast.port=ｘｘｘ」（ｘｘｘ は設定するポート番号） 本書 65 ページ「認証装置の設定」 ⑥[スタート] ― [コントロールパネル] ― [管理ツール] ― [サービス] から [EpsonNet ID Print Spooler Service] を再起動します。システム設定、ジョブモニタを起動しているときは、それらも再起動します。 * 設定ファイルのパスは￥Program Files￥EpsonNet￥EpsonNet ID Print 以下を記載しています。
指定したユーザーのファイルが見つかりません	指定したユーザーの印刷ファイルが保存されていません。印刷ファイルを保存するか、プリンタドライバの設定を見直してください。
設定エラーがあります。設定を確認し、アプリケーションを再起動してください。	設定ファイルの内容が正しくありません。設定内容が正しいか確認してください。 本書 65 ページ「認証装置の設定」
通信機能が利用できません	ネットワークが接続されていません。ネットワークケーブルを接続し、ネットワーク通信可能なことを確認してください。

エラーメッセージ	状況・対処方法
認証装置の設定に不正があります ※2行目以降に下記のメッセージが表示されることがあります。	認証装置の設定に誤りがあります。認証装置設定を見直して再度設定をしてください。
エラーコード： BuffScale Setting Error	hidusb.content.length に負数が設定されています。正の整数を設定してください。
エラーコード： Device Connection Error	HID デバイスが PRIFNW7S に接続されていません。HID デバイスを接続してから認証装置設定を実施してください。また、PRIFNW7S の電源が正しく接続されていることを確認してください。
エラーコード： felica.block.number.setting.error	felica.card.number_of_blocks に設定値がない、または数字以外の値が設定されています。1 以上の整数値を設定してください。
エラーコード： felica.readtype.content.error	felica.card.read_type に service か id 以外の文字列が設定されています。service か id を設定してください。
エラーコード： felica.readtype.setting.error	felica.card.read_type に設定値がありません。service か id を設定してください。
エラーコード： felica.service.code.setting.error	felica.card.service_code_list に値を設定してください。 felica.card.service_code_list の値が "0x##,0x##" という形式かどうかを確認してください。(# は 0-9、a-f のいずれかの値) サービスコードが「1234h」のときは、上 2 桁と下 2 桁を入れ替えて「0x34,0x12」と記述してください。
エラーコード： felica.system.code.setting.error	felica.card.system_code に値を設定してください。 felica.card.system_code の値が "0x##,0x##" という形式かどうかを確認してください。(# は 0-9、a-f のいずれかの値) システムコードが「1234h」のときは、「0x12,0x34」と記述してください。
エラーコード： felica.timeout.setting.error	felica.rw.timeout に設定値がない、または数字以外の値が設定されています。500 以上の数字を設定してください。
エラーコード： felica.timeout.setting.too.short	felica.rw.timeout に 500 未満の数字が設定されています。500 以上の数字を設定してください。
設定ファイルの設定値が不正です	hidusb.content.length に、hidusb.content.begin.index と hidusb.content.userid.length の値の合計よりも小さい値が設定されています。全長に収まる値を設定してください。
設定ファイルの設定値に不正な形式があります	以下の項目に、数字以外の文字が設定されています。半角数字を設定してください。 hidusb.read.timeout hidusb.content.begin.index hidusb.content.userid.length hidusb.content.length
設定ファイルの設定値に不正な数字があります	以下の項目に、0または負数が設定されています。正の整数を設定してください。 hidusb.read.timeout hidusb.content.begin.index hidusb.content.userid.length hidusb.content.length
認証装置の設定ファイルは変更されませんでした。 プリンタアプリケーションは既存の設定を維持しています。	認証装置の設定ファイルは、内容を変更しないとプリンタに送信できません。同じ内容を再度プリンタに送信したい場合には、空の行を加えるなど変更を加えたものを保存し、プリンタに送信してください。
ファイルが見つかりません	印刷ファイルが保存されていません。印刷ファイルを保存するか、プリンタドライバの設定を見直してください。
プリンタとの通信に失敗しました。 プリンタの電源を入れ、通信可能な状態にしてから設定し直してください。	プリンタとの通信ができない場合、またはプリンタのファームウェアバージョンが古い場合に表示されます。 プリンタの電源状態、通信状態を確認し、プリンタのファームウェアバージョンが 1.30 以上であることを確認してください。 本書 11 ページ「ステータスシートの印刷」

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージ

- 一度パネルに表示されたメッセージは、次のメッセージが表示されるまで消えません。パネルに表示されたメッセージを消したいときは、プリンタを一旦オフラインにしてからオンラインに戻してください。
- 本ソフトウェアのメッセージ表示中に、プリンタのメッセージが上書き表示され、本ソフトウェアのメッセージが見えなくなることがあります。
- パネルのないプリンタにはメッセージは表示されません。

エラーメッセージ

半角表示の機種	漢字表示できる機種	状況・対処方法
application error	アプリケーションエラー	以下の 6 つの状況が考えられます。 • PRIFNW7S に電源コードが接続されていません。 PRIFNW7S の電源コードを正しく接続してください。 • PRIFNW7S に IP アドレスが設定されていません。 IP アドレスを設定してください。 • PRIFNW7S の DNS 設定が正しくありません。 DNS 設定を確認し、正しい IP アドレスを設定してください。 • 認証装置の設定が正しくありません。 認証装置設定を確認してください。 本書 81 ページ「設定方法」 • 内部モジュールに不足があります。 PRIFNW7S を工場出荷状態に戻してください。方法は PRIFNW7S の取扱説明書を参照してください。 • 設定完了後に認証装置が差し替えられました。 設定ファイルに設定した認証装置に戻してプリンタを再起動するか、差し替えた認証装置に合わせて設定ファイルを編集し直してください。 本書 65 ページ「認証装置の設定」
auth proxy down （認証プロキシプラグイン Ver1.59 以降利用時）	認証プロキシ通信エラー （認証プロキシプラグイン Ver1.59 以降利用時）	認証プロキシ 1.0 または認証プロキシ for LDAP 1.5 と通信できません。認証プロキシプラグインの取扱説明書（電子マニュアル）を参照して、認証プロキシとのネットワーク接続状況や、認証プロキシの起動状況を確認してください。
auth proxy error （認証プロキシプラグイン Ver1.59 以降利用時）	認証プロキシ処理エラー （認証プロキシプラグイン Ver1.59 以降利用時）	認証プロキシサービスで認証処理中にエラーが発生しました。認証プロキシプラグインの取扱説明書（電子マニュアル）を参照して、認証プロキシの動作状態を確認してください。
auth server down （認証プロキシプラグイン Ver1.00 利用時）	認証サーバ通信エラー （認証プロキシプラグイン Ver1.00 利用時）	認証プロキシ 1.0 または認証プロキシ for LDAP 1.5 と通信できません。認証プロキシプラグインの取扱説明書（電子マニュアル）を参照して、認証プロキシとのネットワーク接続状況や、認証プロキシの起動状況を確認してください。
auth server error （認証プロキシプラグイン Ver1.00 利用時）	認証サーバ処理エラー （認証プロキシプラグイン Ver1.00 利用時）	認証プロキシサービスで認証処理中にエラーが発生しました。認証プロキシプラグインの取扱説明書（電子マニュアル）を参照して、認証プロキシの動作状態を確認してください。
card type error	利用できないカードです	以下の２つの状況が考えられます。 • 認証メディア（FeliCa カード、磁気カード）の読み取りに失敗しました。 認証操作をやり直してください。 • 認証装置の設定が正しくありません。 認証メディア（FeliCa カード、磁気カード）に記録されている認証情報の桁数と、設定ファイルに記述している桁数が異なります。適切な認証メディアを使用しているか、または設定ファイルの記述が正しいか確認してください。

半角表示の機種	漢字表示できる機種	状況・対処方法
FelicaReaderError:10	FelicaReaderError:10	FeliCa カードから読み取る設定に誤りがあります。以下の設定を見直してください。 felica.card.data.length=# (# は felica.card.number_of_blocks の 16 倍の値) felica.card.data.type=char または hex felica.card.data.id.offset=# (# は 0 から felica.card.data.length-1 の値) felica.card.data.id.length=# (# は 1 から felica.card.data.length の値)
ID error	認証失敗	認証メディア(FeliCa カード、磁気カード)の読み取りに失敗しました。正しい認証メディアか確認し、再度カード認証操作をしてください。
ID Print HDD error	ID Print HDD 装着エラー	プリンタにオプションのハードディスクが装着されているため、印刷を停止しました。ハードディスクに印刷ファイルが保存され、情報漏えいの原因となりますので、ハードディスクを取り外してください。 設定ファイルの設定を変更すると、ハードディスクを装着したままでも使用できます。 ただしセキュアな印刷環境は保証できません。 本書 81 ページ「HDD が装着されていることを検出した際に、認証印刷を停止する設定」
logon error	二重ログオン	1 台のプリンタで認証印刷中に、別のプリンタで認証操作を行いました。認証操作は 1 箇所のみで行ってください。複数のプリンタから同時に印刷することはできません。
no job file	印刷ファイルなし	認証操作を行ったユーザーの印刷ファイルが見つかりません。ジョブモニタはたはシステム設定で、印刷ファイルがあるか確認してください。 本書 71 ページ「プリンタのパネルに「no job file」と表示される。」
server error	サーバに接続できません	印刷ファイルを保持しているサーバに接続できませんでした。プリンタ・サーバ間のネットワーク接続を確認してください。 Windows ファイアウォールが有効になっている場合は、無効にするか、例外のプログラムおよびポートを追加してください。 本書 84 ページ「Windows ファイアウォールの例外設定」
setting error	認証装置設定が不適切	認証装置の設定内容に誤りがあります。管理者は認証装置の設定を確認してください。

ステータスメッセージ

ステータスメッセージは、プリンタの状況を示すメッセージです。プリンタは正しく動作しています。

半角表示の機種	漢字表示できる機種	内容
Authenticating . . . (認証プロキシ 1.0/ 認証プロキシ for LDAP 1.5 連携時)	認証中	認証プロキシサービスで認証処理中です。
ID ok	認証されました	認証メディアの読み取りが正しく行われました。
ID Print Ready	ID Print　準備完了	ID Print の準備が完了しました。
job file : *	残りジョブ数 : *	* は数字です。印刷中に、残りのジョブ数を表示します。
print completed	印刷完了	印刷が完了しました。
searching job file..	印刷ファイル検索中	プリンタで認証操作後、印刷ファイルを検索しています。
setting changed	認証装置設定完了	認証装置の設定変更が完了しました(認証装置の設定は管理者が行います)。

設定ファイルの復旧方法

設定ファイルの内容を削除したり、ファイル自体を削除してしまった場合は、以下の手順で設定ファイルを作成してください。

設定ファイルの作成

1 設定ファイルのサンプルをテキストエディタにコピーします。

設定ファイルのサンプルは、購入時の設定ファイルと同じ内容です。使用する認証装置、認証メディアに合わせて「1. 設定部」を変更してください。

設定方法は以下を参照してください。

本書 81 ページ「設定方法」

＜設定ファイルのサンプル：サーバ経由＞

```
# ファイルを保存後、「OK」ボタンによりプリンタに送信してください

#==========================================================================
# ■ 1. 設定部
# ※設定方法は、「2. 設定方法」を参照してください
#

#-----------------------------------------------
# ▼認証装置の設定
#  この設定（デフォルト）は、PaSoRi を用いて FeliCa ID(IDm) を取得する場合の設定です。
#   他の設定（FeliCa のサービス領域から情報を取得する場合／磁気カードリーダの場合）に
#   変更する場合は、設定行を "#" 記号により無効化してください。
# ▽認証装置の形式
authenticate.device.type=PASORI
authenticate.type=CharacterMatch
# ▽読み取り方式設定
felica.rw.timeout=1000
felica.card.read_type=id
felica.card.system_code=0xff,0xff
felica.card.data.type=hex
felica.card.data.length=8
felica.card.data.id.offset=0
felica.card.data.id.length=8

# ▼認証装置の設定（FeliCa のサービス領域から情報を取得する場合）
#   この設定を使用する場合は、設定行の”#”記号を削除して、”*”部分の設定値を書き換えてください。
# ▽認証装置の形式
#authenticate.device.type=PASORI
#authenticate.type=CharacterMatch
# ▽読み取り方式設定
#felica.rw.timeout=1000
#felica.card.read_type=service
#felica.card.system_code=****,****
#           ⇒ FeliCa のデータが書き込まれているシステムコードを設定します。
#              システムコードが「1234h」のときは、「0x12,0x34」と記述してください。
#felica.card.service_code_list=****,****
#           ⇒ FeliCa のデータが書き込まれているサービスコードを設定します。
#              サービスコードが「1234h」のときは、上 2 桁と下 2 桁を入れ替えて
#              「0x34,0x12」と記述してください。
#felica.card.number_of_blocks=*
#felica.card.data.type=*
#felica.card.data.length=**
#felica.card.data.id.offset=**
#felica.card.data.id.length=*

# ▼認証装置の設定（磁気カードリーダの場合）
#   この設定を使用する場合は、設定行の”#”記号を削除して、”*”部分の設定値を書き換えてください。
# ▽認証装置の形式
#authenticate.device.type=HIDUSB
#authenticate.type=CharacterMatch
# ▽読み取り方式設定
#hidusb.read.timeout=1500
#hidusb.content.begin.index=**
#hidusb.content.userid.length=**
#hidusb.content.length=**

#-----------------------------------------------
# ▼認証印刷サーバを認証時に検索させる設定
#   true 実施 / false 実施しない
#   この項目を変更したときは、必ずプリンタを再起動してください
#  false に設定するときは、認証印刷サーバを必ず設定してください
spooler.service.auto.detect=false

#-----------------------------------------------
# ▼ HDD が装着されていることを検出した際に、認証印刷を停止する設定
#   true 停止する / false 停止しない
abort.auth.print.with.hdd=true

#-----------------------------------------------
# ▼印刷ファイルの出力順の設定
#   newest_is_top 新しいものから先に印刷 ／ oldest_is_top 古いものから先に印刷
#   この項目を変更したときは、必ずプリンタを再起動してください
printjob.order=oldest_is_top
```

＜設定ファイルのサンプル：直接印刷＞

```
# ファイルを保存後、「OK」ボタンによりプリンタに送信してください

#==========================================================================
# ■ 1. 設定部
# ※設定方法は、「2. 設定方法」を参照してください
#

#-----------------------------------------------
# ▼認証装置の設定
#  この設定（デフォルト）は、PaSoRi を用いて FeliCa ID(IDm) を取得する場合の設定です。
#   他の設定（FeliCa のサービス領域から情報を取得する場合／磁気カードリーダの場合）に
#   変更する場合は、設定行を "#" 記号により無効化してください。
# ▽認証装置の形式
authenticate.device.type=PASORI
authenticate.type=CharacterMatch
# ▽読み取り方式設定
felica.rw.timeout=1000
felica.card.read_type=id
felica.card.system_code=0xff,0xff
felica.card.data.type=hex
felica.card.data.length=8
felica.card.data.id.offset=0
felica.card.data.id.length=8

# ▼認証装置の設定（FeliCa のサービス領域から情報を取得する場合）
#   この設定を使用する場合は、設定行の”#”記号を削除して、”*”部分の設定値を書き換えてください。
# ▽認証装置の形式
#authenticate.device.type=PASORI
#authenticate.type=CharacterMatch
# ▽読み取り方式設定
#felica.rw.timeout=1000
#felica.card.read_type=service
#felica.card.system_code=****,****
#           ⇒ FeliCa のデータが書き込まれているシステムコードを設定します。
#              システムコードが「1234h」のときは、「0x12,0x34」と記述してください。
#felica.card.service_code_list=****,****
#           ⇒ FeliCa のデータが書き込まれているサービスコードを設定します。
#              サービスコードが「1234h」のときは、上 2 桁と下 2 桁を入れ替えて
#              「0x34,0x12」と記述してください。
#felica.card.number_of_blocks=*
#felica.card.data.type=*
#felica.card.data.length=**
#felica.card.data.id.offset=**
#felica.card.data.id.length=*

# ▼認証装置の設定（磁気カードリーダの場合）
#   この設定を使用する場合は、設定行の”#”記号を削除して、”*”部分の設定値を書き換えてください。
# ▽認証装置の形式
#authenticate.device.type=HIDUSB
#authenticate.type=CharacterMatch
# ▽読み取り方式設定
#hidusb.read.timeout=1500
#hidusb.content.begin.index=**
#hidusb.content.userid.length=**
#hidusb.content.length=**

#-----------------------------------------------
# ▼認証印刷サーバを認証時に検索させる設定
#   true 実施 / false 実施しない
#   この項目を変更したときは、必ずプリンタを再起動してください
#  false に設定するときは、認証印刷サーバを必ず設定してください
spooler.service.auto.detect=true

#-----------------------------------------------
# ▼ HDD が装着されていることを検出した際に、認証印刷を停止する設定
#   true 停止する / false 停止しない
abort.auth.print.with.hdd=true

#-----------------------------------------------
# ▼印刷ファイルの出力順の設定
#   newest_is_top 新しいものから先に印刷 ／ oldest_is_top 古いものから先に印刷
#   この項目を変更したときは、必ずプリンタを再起動してください
printjob.order=oldest_is_top
```

2 以下のファイル名で作成した設定ファイルを保存します。

ファイル名を「printset_usr_nic」にしてインストールディレクトリの以下のフォルダに保存します。

サーバ経由：EpsonNet￥EpsonNet ID Print￥Server￥viaServer￥Controller￥PrtData￥

直接印刷：EpsonNet￥EpsonNet ID Print￥Client￥directPrint￥PrtData￥

以上で設定ファイルの復旧は完了です。

設定方法

認証装置の形式

authenticate.device.type には、利用するデバイスの種類を設定します。

以下の 2 つから選択できます。

- PaSoRi（FeliCa リーダ）の場合：PASORI
- 磁気カードリーダ等 HID デバイスの場合：HIDUSB

authenticate.type には、認証方法を設定します。

本製品を単独で利用する場合は、完全一致にて認証を行う CharacterMatch のみ選択できます。変更しないでください。

読み取り方式設定

読み取り方式は、認証装置の種類によって異なります。

以下を参照してください。

☞ 本書 82 ページ「磁気カードリーダの設定」
☞ 本書 81 ページ「PaSoRi の設定」

HDD が装着されていることを検出した際に、認証印刷を停止する設定

通常は、true（初期値）で使用してください。

false になっていると、オプションのハードディスクに印刷ファイルが保存されるため、情報漏えいの原因となります。

認証印刷サーバを認証時に検索させる設定

true は、認証操作の際に認証印刷サーバを自動的に探索します。

自動探索を実施しない場合は、false に変更してください。

「サーバ経由」での利用時など認証印刷サーバの IP アドレスが固定の場合は、システム設定の［プリンタ設定］-［ファイル検索サーバの設定］に認証印刷サーバの IP アドレスを登録してから本設定を false にすると、印刷までの処理を高速化できます。

この項目を変更したときは、変更を反映させるために必ずプリンタ本体を再起動してください。

設定を false にして IP アドレスの登録を間違えたり、忘れたりしたときは、認証操作後に、プリンタのパネルに「server error」が表示され、印刷データを取得できません。

印刷ファイルの出力順の設定

プリンタドライバから印刷ファイルを送信した時期が新しいものから先に印刷するか、古いものから先に印刷するかを設定します。

その他

行先頭に「#」を入れると設定をコメントアウトできます。

行の先頭と末尾にスペースや TAB を入れないでください。

１項目ごとに改行してください。

PaSoRi の設定

設定項目の説明

felica.rw.timeout

FeliCa 読み取り開始から次の読み取りまでの時間（ミリ秒）

この時間内に入力されたものが有効となります。

制限時間が短いと、カードを正しく読み込めません。500 ミリ秒以上を設定してください。

felica.card.read_type

FeliCa 読み取り形式　(service / id)

FeliCa 情報のうちどこから情報を取得するかを設定します。

service の場合

　FeliCa のサービス領域から情報を取得します。

id の場合

　FeliCa ID を取得します。

　ユーザー識別情報を登録するときは、アルファベットは小文字で登録してください。

　以下の「設定例」をそのままお使いください。

　☞ 本書 82 ページ「felica.card.read_type=id の場合」

felica.card.system_code

FeliCa のデータが書き込まれているシステムコードを設定します。

システムコードが「1234h」のときは、「0x12,0x34」と記述してください。

felica.card.service_code_list

felica.card.read_type が id のときは、この項目は不要です。

FeliCa のデータが書き込まれているサービスコードを設定します。

サービスコードが「1234h」のときは、上 2 桁と下 2 桁を入れ替えて「0x34,0x12」と記述してください。

felica.card.number_of_blocks

felica.card.read_type が id のときは、この項目は不要です。

取得するデータのブロック数を設定します。1 ブロック 16 バイトです。

felica.card.data.type
FeliCa に記録されている情報の読み取り形式を指定します (char / hex)

char の場合

取得したデータを 1 バイトごとに、文字コードとして文字変換します。

hex の場合

取得したデータを 1 バイトごとに、16 進文字列として 2 文字に変換します。

ユーザー識別情報を登録するときは、小文字のみで登録してください。

felica.card.data.length
FeliCa から読み取る全文字列の長さ

felica.card.read_type が service のときは、felica.card.number_of_blocksの16倍の値を設定してください。

felica.card.data.id.offset
認証に利用する文字列の開始バイト

0 ～（felica.card.data.length-1）の範囲の整数値を指定してください。

felica.card.data.id.length
認証に利用する文字列のバイト長

1～felica.card.data.lengthの範囲の整数値を指定してください。

設定例

felica.card.read_type=service の場合
入力文字列"0123456789ABCDEF"で"ABCDE"を認証情報として利用するとき、
A は左端から数えて 10 番目（数え始めは 0 です）ですから、設定は以下のようになります。

＜設定例＞

authenticate.device.type=PASORI

authenticate.type=CharacterMatch

felica.rw.timeout=2000

felica.card.read_type=service

felica.card.system_code=0x12,0x34

felica.card.service_code_list=0x34,0x12

felica.card.number_of_blocks=1

felica.card.data.type=char

felica.card.data.length=16

felica.card.data.id.offset=10

felica.card.data.id.length=5

felica.card.read_type=id の場合
8 バイトの IDm を 16 進数の文字列表記にした情報を印刷ファイルのユーザー名として利用するとき、
返却する IDm は以下のようになります。

例：010105016806920c

以下の設定例を変更せずにそのままご使用ください。

＜設定例＞

authenticate.device.type=PASORI

authenticate.type=CharacterMatch

felica.rw.timeout=2000

felica.card.read_type=id

felica.card.system_code=0xff,0xff

felica.card.data.type=hex

felica.card.data.length=8

felica.card.data.id.offset=0

felica.card.data.id.length=8

磁気カードリーダの設定

設定項目の説明

hidusb.read.timeout
カード読み取り開始から完了までの制限時間（ミリ秒）

この時間内に入力されたものが有効となります。

制限時間が短いと、カードを正しく読み込めません。

hidusb.content.begin.index
認証に利用する文字列の開始バイト

1 ～ hidusb.content.length の範囲の整数値を指定してください。

hidusb.content.userid.length
認証に利用する文字列のバイト長

1 ～ hidusb.content.length の範囲の整数値を指定してください。

hidusb.content.length
認証装置から読み取る全文字列の長さ

この値と異なる文字数が入力されるとエラーになります。

1 以上の整数値を指定してください。

設定例

入力文字列 "1234567890ABCDE67890"（全長 20 バイト）で "ABCDE"（5 バイト）を認証情報として利用するとき、A は左端から数えて 11 番目（数え始めは 1 です）ですから、設定は以下のようになります。

＜設定例＞

authenticate.device.type=HIDUSB
authenticate.type=CharacterMatch
hidusb.read.timeout=1500
hidusb.content.begin.index=11
hidusb.content.userid.length=5
hidusb.content.length=20

Windows ファイアウォールの例外設定

Windows ファイアウォールが有効になっていると、認証印刷ができないことがあります。例外のポートおよびプログラムを追加すると、印刷できるようになります。

サーバ経由の場合

認証印刷サーバの設定

- 下記の例外プログラム（exe ファイル）を追加してください。
  フォルダパスは、デフォルトでインストールした場合のものです。
  C:¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print¥Server¥viaServer¥Spooler¥ENIP_Spooler.exe
- 下記の例外ポートを追加してください。ただし、システム設定起動時に、［Java(TM) Platform SE binary］のプログラムをブロックするか確認する画面が表示された際、ブロック解除を選択した場合は設定不要です。

ポート番号	種別	ソフトウェア名
59211	UDP	EpsonNet ID Print システム設定
59211	TCP	
59213	TCP	

クライアントの設定(ジョブモニタ使用時)

下記の例外ポートを追加してください。ただし、ジョブモニタ起動時に、［Java(TM) Platform SE binary］のプログラムをブロックするか確認する画面が表示された際、ブロック解除を選択した場合は設定不要です。

ポート番号	種別	ソフトウェア名
59211	UDP	EpsonNet ID Print ジョブモニタ
59211	TCP	
59213	TCP	

直接印刷の場合

クライアントの設定

- 下記の例外プログラム（exe ファイル）を追加してください。
  フォルダパスは、デフォルトでインストールした場合のものです。
  C:¥Program Files¥EpsonNet¥EpsonNet ID Print¥Server¥directPrint¥ENIP_Spooler.exe
- 下記の例外ポートを追加してください。ただし、システム設定起動時に、［Java(TM) Platform SE binary］のプログラムのブロックを確認する画面が表示された際、ブロック解除を選択した場合は設定不要です。

ポート番号	種別	ソフトウェア名
59211	UDP	EpsonNet ID Print システム設定
59211	TCP	
59213	TCP	

その他

アンインストール

インストールしたソフトウェアは以下の手順で削除（アンインストール）できます。

！重要

- ソフトウェアのアンインストールは Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。
- アンインストールをすると、保留中のファイルは削除されます。

1 **Windowsの［コントロールパネル］を開きます。**

Windows Vista：
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 2000：
［アプリケーションの追加と削除］をクリックします。

2 **［EpsonNet ID Print XXXX］を選択して、［アンインストール］（Windows Vista）または［変更と削除］（Windows Vista 以外）をクリックします。**

プリンタドライバのアンインストール方法はプリンタなどの取扱説明書を参照してください。

設定の初期化

本製品は以下の手順で設定を初期化できます。

1 **本製品をアンインストールします。**
☞ 本書 85 ページ「アンインストール」

2 **本製品をインストールします。**
☞ 本書 8 ページ「セットアップ」

以上で完了です。

本製品のバージョンの確認

本製品のバージョンを確認する方法は、以下の 2 通りあります。

- ステータスシートで確認
☞ 本書 11 ページ「ステータスシートの印刷」
- システム設定から確認
☞ 本書 56 ページ「バージョンの確認」

5 付録

連携ソフトウェアの紹介

本製品と連携して使用できるソフトウェアについて説明します。

ソフトウェア	説明
EpsonNet InstallManager	EpsonNet InstallManager は、プリンタドライバや各種ユーティリティのインストール手順をスクリプトの作成によって自動化するツールです。クライアントでの設定作業が少なくなり、プリンタの導入を容易にします。 セットアップパターン②④の場合に使用できます。 EpsonNet InstallManager を使用した場合、使用プロトコルは LPR になります。 EpsonNet InstallManager は、エプソンのホームページからダウンロードできます。 http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm
Offirio SynergyWare認証プロキシ1.0 （型番：SWNPV1）	ID Print の認証機能を拡張するツールです。以下の機能が利用できます。 • LDAP 認証機能 • 独自 DB 認証機能 • 認証マクロ作成機能 詳細は Offirio SynergyWare 認証プロキシ 1.0 の取扱説明書を参照してください。 ID Print と連携させるには、プラグインが必要です。エプソンのホームページからプラグインと取扱説明書をダウンロードしてください。 http://www.epson.jp/
Offirio SynergyWare認証プロキシ for LDAP 1.5 （型番：SWNPV15）	ID Print の認証機能を拡張するツールです。以下の機能が利用できます。 • LDAP 認証機能 • 独自 DB 認証機能 • 認証マクロ作成機能 詳細は Offirio SynergyWare 認証プロキシ for LDAP 1.5 の取扱説明書を参照してください。 ID Print と連携させるには、プラグインが必要です。Offirio SynergyWare ID Print ソフトウェア CD-ROM（水色）内の、［PLUGIN］－［Auth プロキシ］フォルダに収録されている取扱説明書『Offirio SynergyWare ID Print 認証プロキシ for LDAP との連携について』（PDF）を参照してください。

設定チェックシート

下表は、本製品をセキュアな状態に設定できたかを確認するためのチェックシートです。すべての項目を確認してください。

	確認内容	✓
①	ステータスシートで、「EPSON PRIFNW7S」に組み込まれている認証ソフトウェア「AuthBase」のバージョンが「EpsonNet ID Print Authentication Print Module Version 1.5b」であることを確認した。 ☞ 本書 11 ページ「ステータスシートの印刷」	
②	システム設定と Spooler Service のバージョンが「EpsonNet ID Print Authentication Print Module Version 1.5b」であることを確認した。 ☞ 本書 45 ページ 9	
③	システム設定の [管理メニュー] ―[印刷ファイルアクセス許可設定] で、[許可しない] (初期設定) を選択している。 ☞ 本書 46 ページ 12	
④	推測されにくいプリンタパスワードを設定した。 ☞ 本書 47 ページ 17	
⑤	ハードディスク装着時に印刷を中止する設定（初期設定）になっている。 ☞ 本書 47 ページ 20	
⑥	テスト印刷を行い、送信した印刷データが印刷できた。 （テスト印刷が成功すれば、本システムの設定が正しくできたことになります。） ☞ 本書 48 ページ 26	

確認日

確認者